

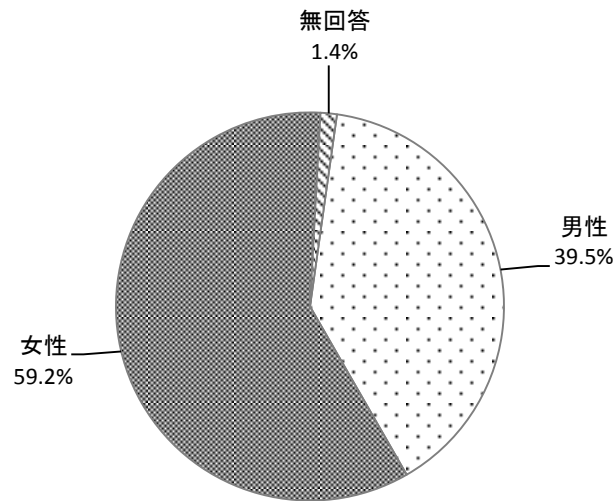
第2章 調査結果

1 回答者の属性

(1) 性別

<全体 (n=1,178) >

○回答者の性別は、男性は39.5%、女性は59.2%であり、女性が男性を19.7ポイント上回っています。

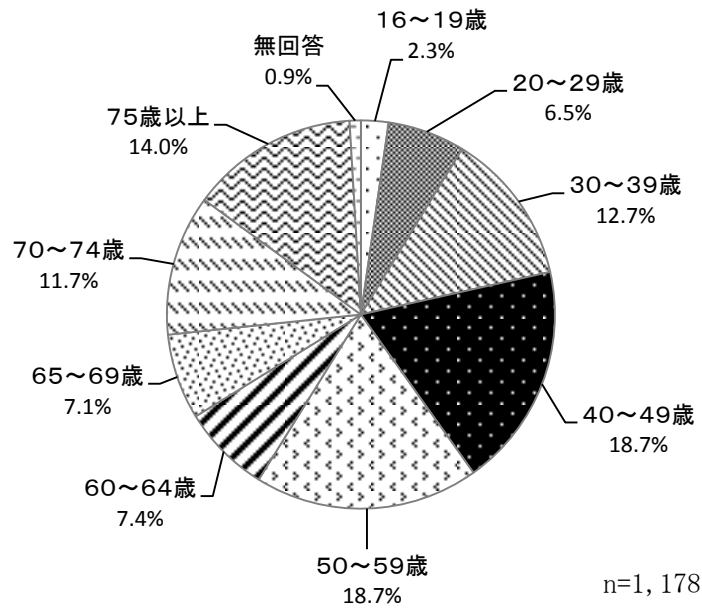


n=1,178

(2) 年齢層

<全体 (n=1,178) >

○回答者の割合を年齢別に見ると、40歳代及び50歳代が18.7%と最も多く、次いで60歳代14.5%、75歳以上14.0%、30歳代12.7%の順となっています。

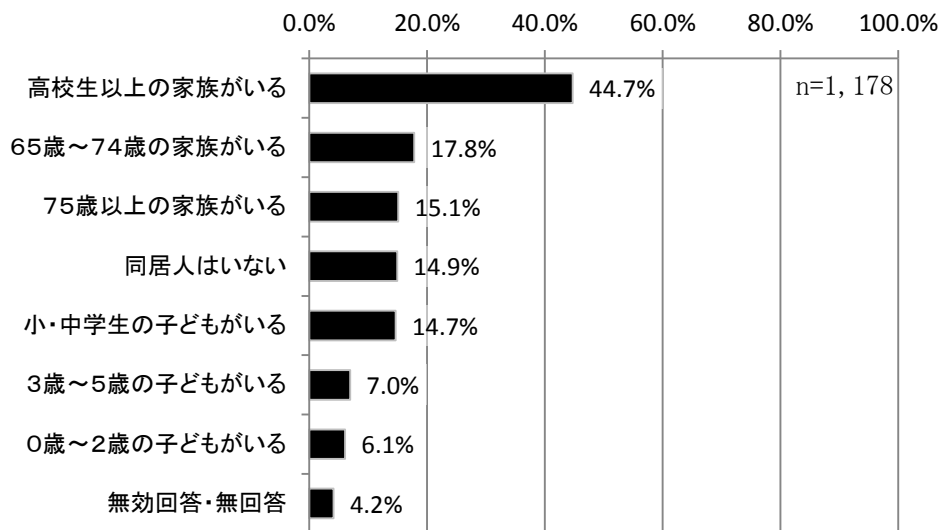


n=1,178

(3) 同居する家族

<全体 (n=1,178) >

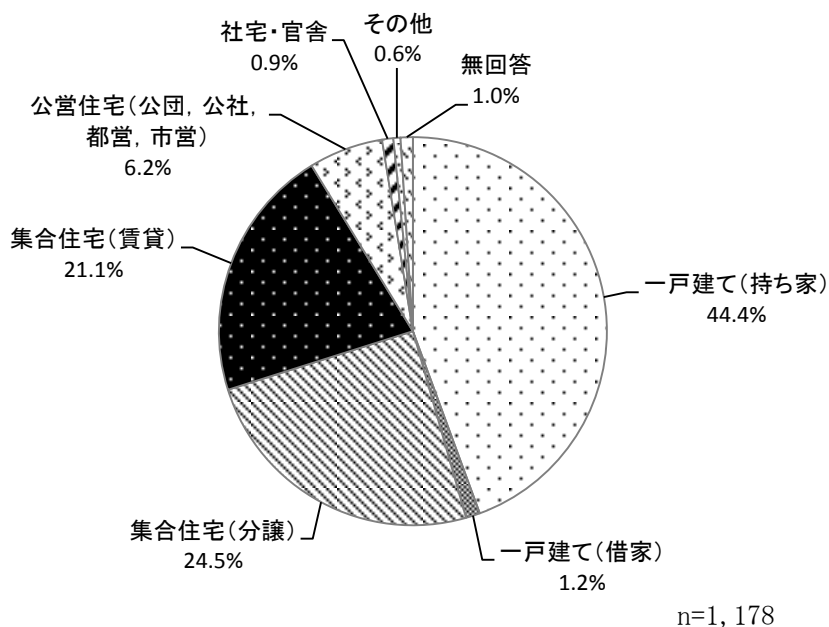
○「高校生以上の家族がいる」が 44.7%と最も多く、次いで「65 歳～74 歳の家族がいる」が 17.8%、「75 歳以上の家族がいる」が 15.1%となっています。



(4) 住まい

<全体 (n=1,178) >

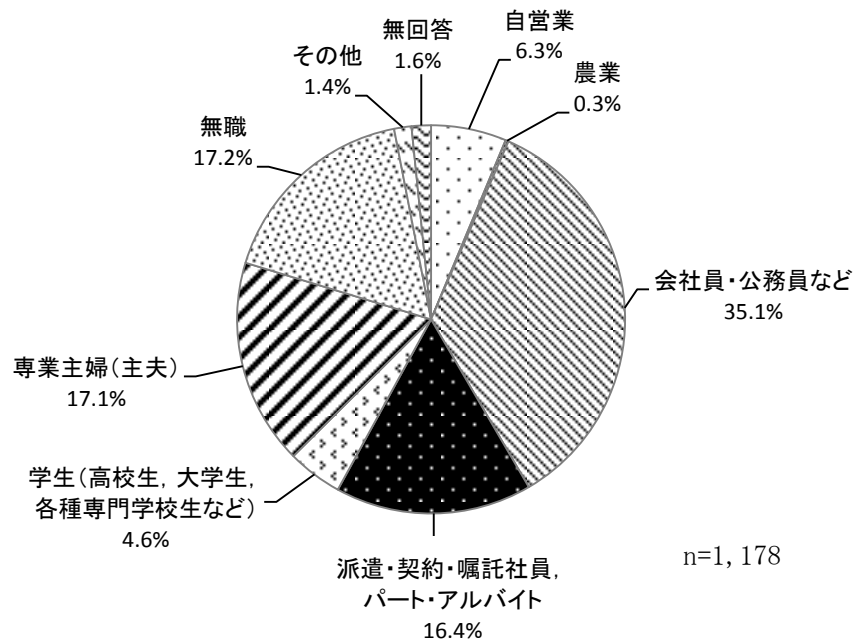
○回答者の住居形態は、一戸建て（持ち家）が 44.4%と最も多く、次いで集合住宅（分譲）が 24.5%、「集合住宅（賃貸）」が 21.1%の順となっています。



(5) 職業

<全体 (n=1,178) >

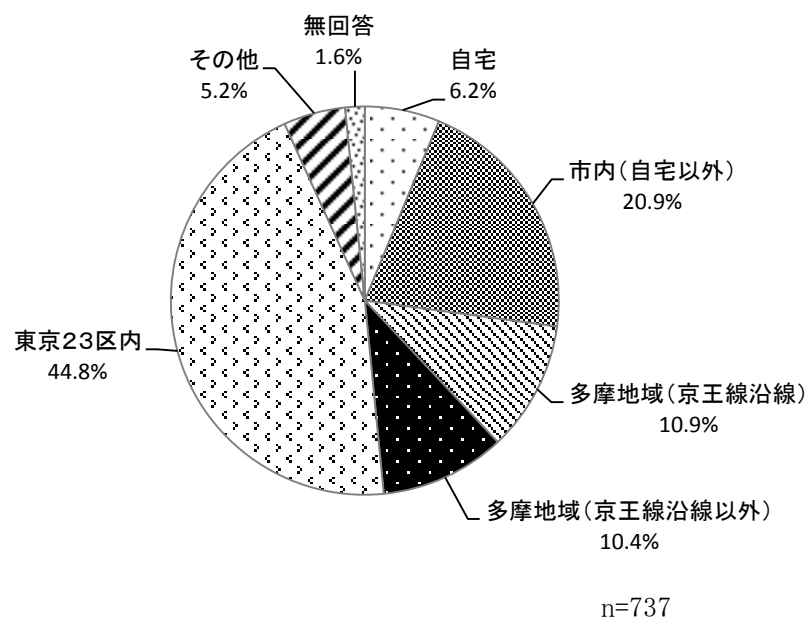
○回答者の職業は、「会社員、公務員など」が 35.1%と最も多く、次いで「無職」の 17.2%、「専業主婦（主夫）」の 17.1%の順となっています。



(6) 通勤(就業)・通学先

<全体 (n=737) >

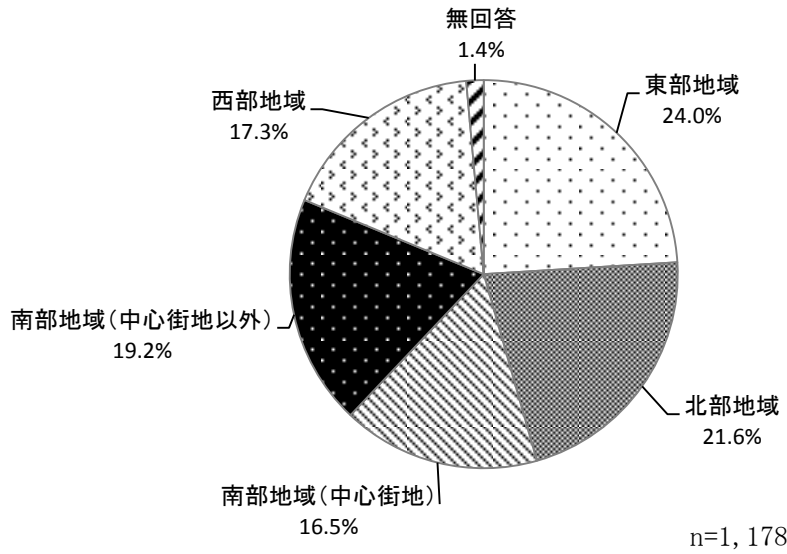
○回答者の通勤・通学先は、「東京23区内」が 44.8%と最も多く、次いで「市内(自宅以外)」の 20.9%、「多摩地域(京王線沿線)」が 10.9%の順となっています。



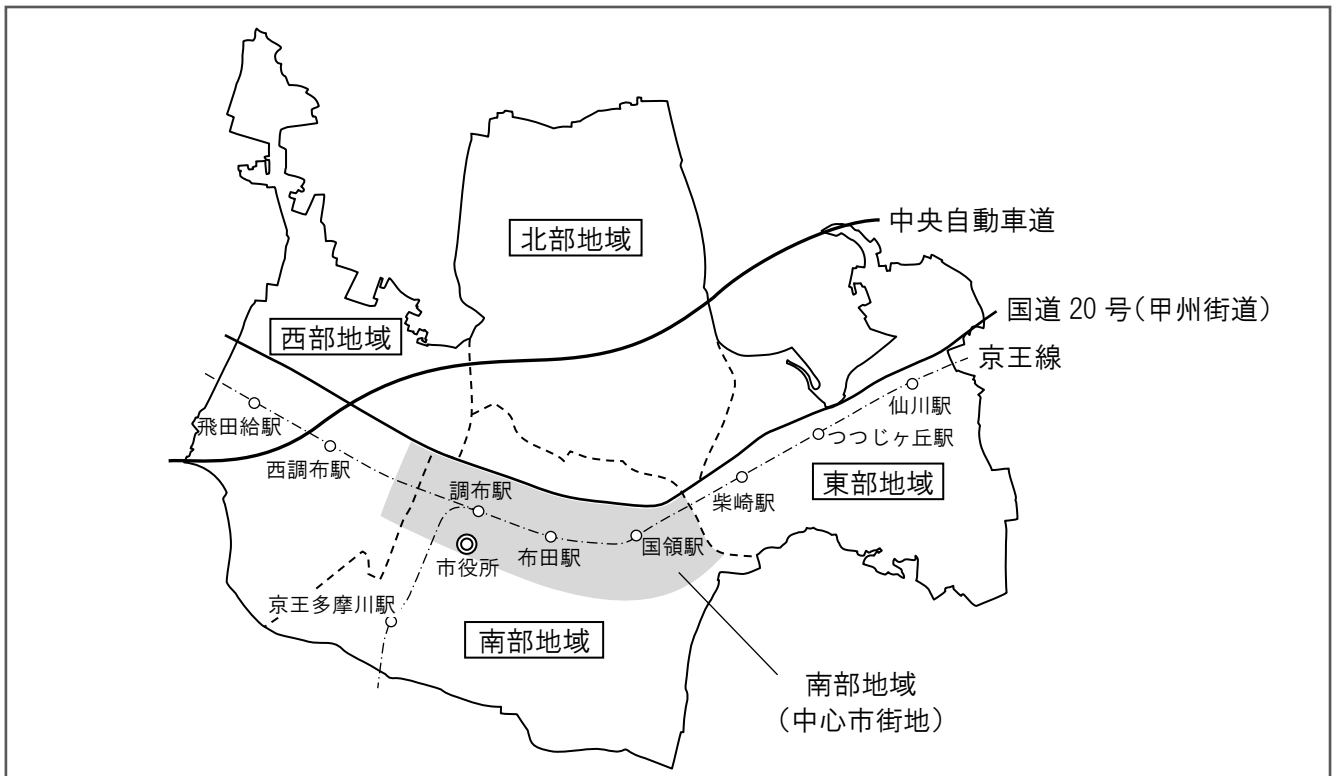
(7) 現在の居住地

<全体 (n=1, 178) >

○回答者の居住地は、「東部地域」が 24.0%と最も多く、次いで「北部地域」の 21.6%、「南部地域(中心市街地以外)」の 19.2%の順となっています。



【図表 4 各地域の位置と対象となる町丁目】

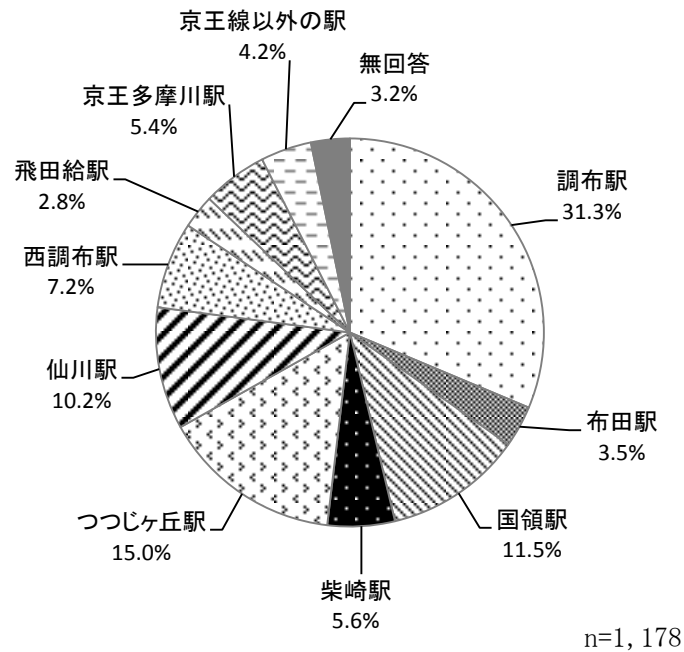


1 東部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 西部地域
菊野台 1～3 丁目 東つつじヶ丘 1～3 丁目 西つつじヶ丘 1～4 丁目 入間町 1～3 丁目 仙川町 1～3 丁目 緑ヶ丘 1～2 丁目 若葉町 1～3 丁目	佐須町 1～5 丁目 柴崎 1～2 丁目 調布ヶ丘 3～4 丁目 深大寺元町 1～5 丁目 深大寺北町 1～7 丁目 深大寺東町 1～8 丁目 深大寺南町 1～5 丁目	小島町 1～2 丁目 布田 1～4 丁目 国領町 1～5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5～6 丁目 国領町 6～7 丁目 染地 1～3 丁目 多摩川 3～7 丁目 調布ヶ丘 1～2 丁目 八雲台 1～2 丁目	飛田給 1～3 丁目 上石原 1～3 丁目 富士見町 1～4 丁目 下石原 1～3 丁目 多摩川 1～2 丁目 野水 1～2 丁目 西町

(8) 普段利用する駅

<全体 (n=1, 178) >

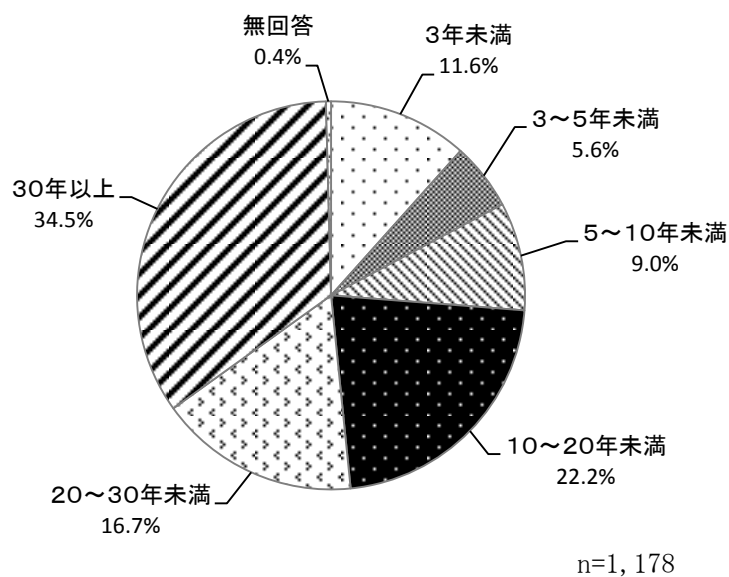
○回答者の普段利用する駅は、「調布駅」が31.3%と最も多く、次いで「つつじヶ丘駅」の15.0%、「国領駅」の11.5%の順となっています。



(9) 居住年数

<全体 (n=1, 178) >

○回答者の居住年数は、「30年以上」が34.5%と最も多く、次いで「10～20年未満」が22.2%、「20～30年未満」が16.7%の順となっています。



2 「新たな基本計画」の5つの視点について

平成31年度からの基本計画（素案）では、優先的かつ重点的に取り組む必要がある主要課題について、課題解決に向け各施策を横断的に関連付け、5つの視点から重点プロジェクトとして位置付けました。

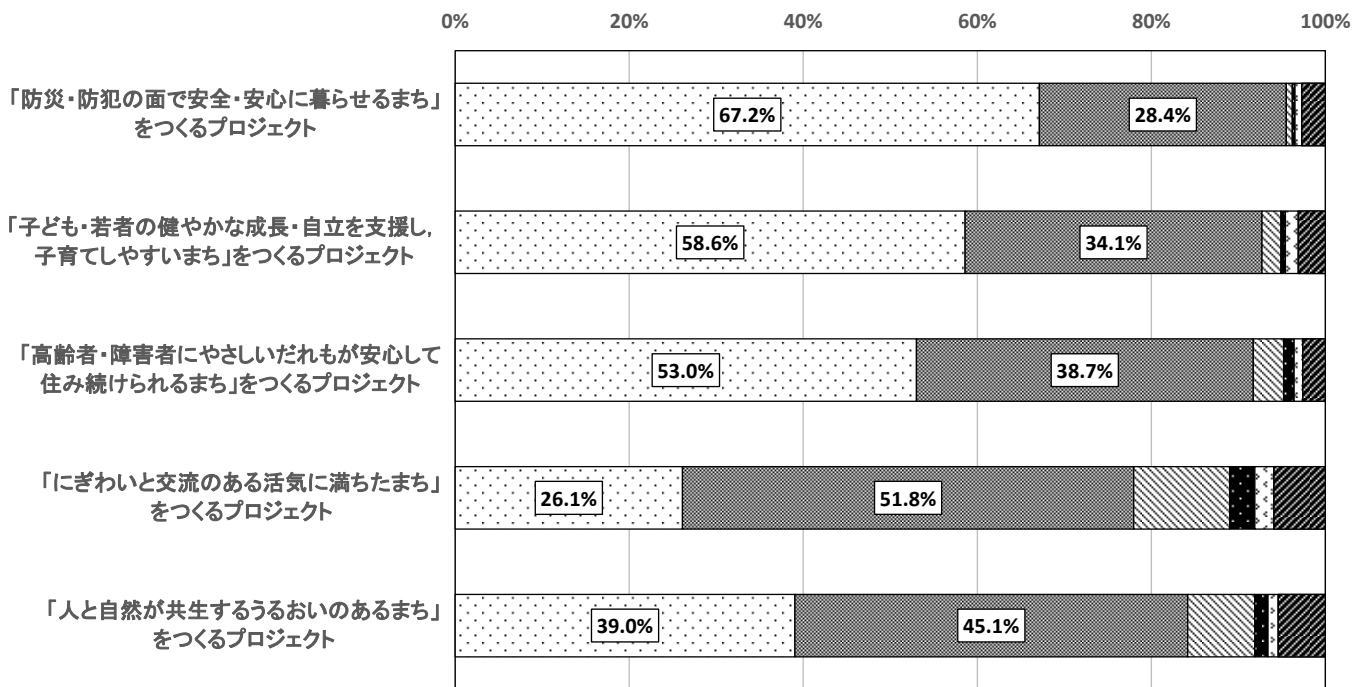
それぞれの重点プロジェクトに対する優先度は以下のとおりです。

なお、各重点プロジェクトに関する調査結果は次ページ以降に掲載しています。

<全体（n=1,178）>

○「重点的に取り組むべきである」と「どちらかと言えば重点的に取り組むべきである」と回答した割合の合計は、「防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまち」をつくるプロジェクトが95.6%と最も高くなっています。

次いで、「子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまち」をつくるプロジェクトの92.7%、「高齢者・障害者にやさしいだれもが安心して住み続けられるまち」をつくるプロジェクトの91.7%、「人と自然が共生するうるおいのあるまち」をつくるプロジェクトの84.1%、「人と自然が共生するうるおいのあるまち」をつくるプロジェクトの77.9%の順となっています。



□ 重点的に取り組むべきである

▨ どちらかと言えば重点的に取り組むべきではない

□ その他

▨ どちらかと言えば重点的に取り組むべきである

■ 重点的に取り組むべきではない

■ 無回答

n=1,178

(1) 「防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまち」をつくるプロジェクト

1 「防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまち」をつくるプロジェクト

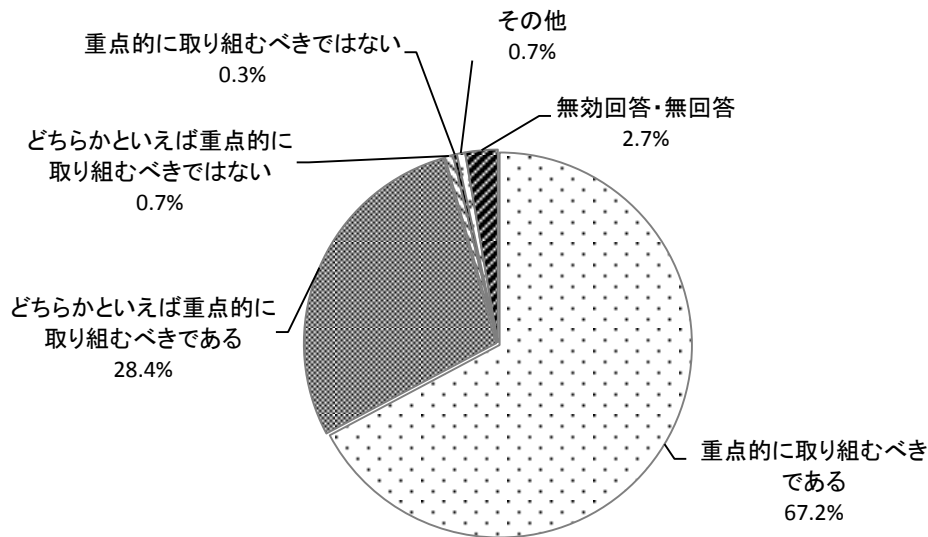
《目指すまちの姿》

- ・ 自助・共助・公助の基本的な考え方の下，地域や関係機関等との協働による地域の防災体制づくりや，犯罪が発生しにくい環境整備により地域の防災・防犯力の向上が図られています。
- ・ 延焼遮断帯の形成，緊急輸送道路の機能確保，住宅の耐震化，下水道の耐震化など，市民が安心して暮らすことができる災害に強い都市基盤づくりが進んでいます。

問1) 「防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまち」をつくるプロジェクトの《目指すまちの姿》について，どのように感じますか。

<全体 (n=1,178)>

○「重点的に取り組むべきである」が67.2%と最も多く，次いで「どちらかといえば重点的に取り組むべきである」が28.4%となっており，合計で全体の9割以上となっています。

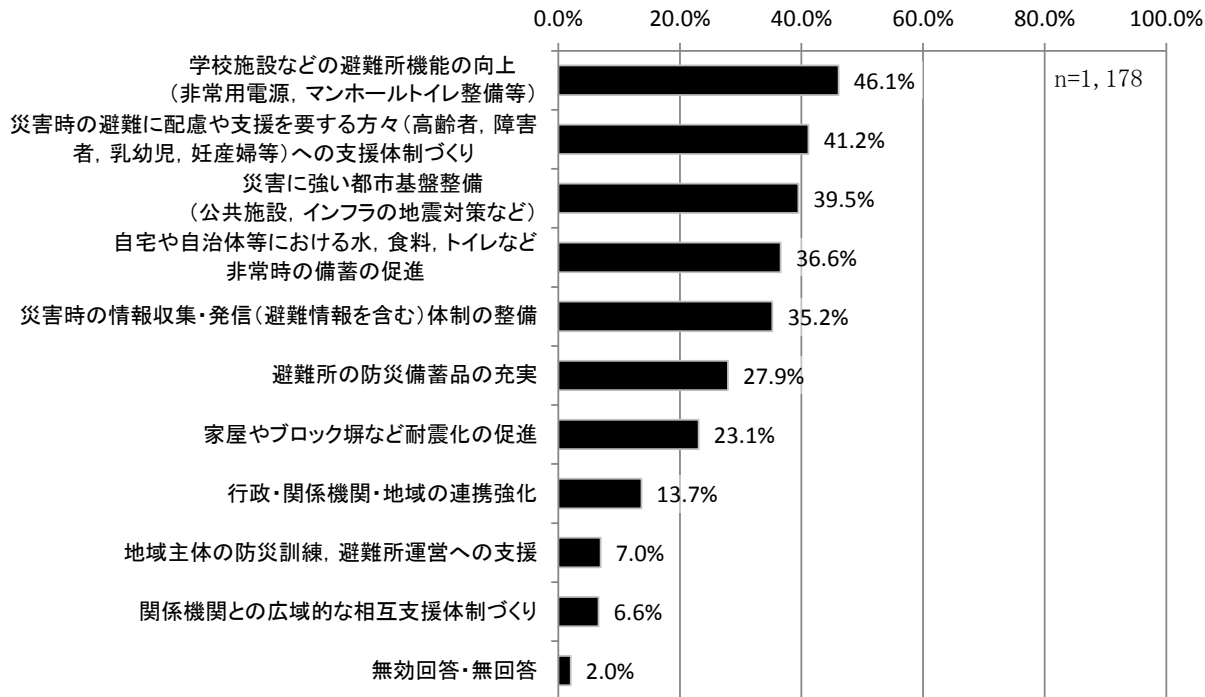


n=1,178

問 2-1) あなたは、「防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまち」づくりのうち防災に関する取組について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(3つ以内)

<全体 (n=1, 178)>

- 「学校施設などの避難所機能の向上（非常用電源、マンホールトイレ整備等）」が46.1%と最も多く、次いで「災害時の避難に配慮や支援を要する方々（高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等）への支援体制づくり」の41.2%、「災害に強い都市基盤整備（公共施設、インフラの地震対策など）」の39.5%の順となっています。



<年齢層別>

- 20～69歳では、「学校施設などの避難所機能の向上（非常用電源、マンホールトイレ整備等）」の割合が最も高くなっており、特に40～59歳では、半数以上となっています。

- 60歳以上では「災害時の避難に配慮や支援を要する方々（高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等）への支援体制づくり」の割合が高くなる傾向があります。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	自宅や自治会等における水、食料、トイレなど非常時の備蓄の促進	家屋やブロック塀など耐震化の促進	地域主体の防災訓練、避難所運営への支援	災害時の避難に配慮や支援を要する方々(高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等)への支援体制づくり	学校施設などの避難所機能の向上(非常用電源、マンホールトイレ整備等)	避難所の防災備蓄品の充実	災害に強い都市基盤整備(公共施設、インフラの地震対策など)	災害時の情報収集・発信(避難情報を含む)体制の整備	行政・関係機関・地域の連携強化	関係機関との広域的な相互支援体制づくり	無効回答・無回答
16～19歳	70	9	8	2	7	11	7	7	15	1	1	2
	-	33.3%	29.6%	7.4%	25.9%	40.7%	25.9%	25.9%	55.6%	3.7%	3.7%	7.4%
20～29歳	210	33	17	4	26	35	23	29	28	10	5	0
	-	43.4%	22.4%	5.3%	34.2%	46.1%	30.3%	38.2%	36.8%	13.2%	6.6%	0.0%
30～39歳	431	59	57	7	48	71	34	70	60	16	8	1
	-	39.3%	38.0%	4.7%	32.0%	47.3%	22.7%	46.7%	40.0%	10.7%	5.3%	0.7%
40～49歳	615	76	57	10	77	122	62	102	58	33	15	3
	-	34.5%	25.9%	4.5%	35.0%	55.5%	28.2%	46.4%	26.4%	15.0%	6.8%	1.4%
50～59歳	616	65	56	18	84	111	70	89	79	25	15	4
	-	29.5%	25.5%	8.2%	38.2%	50.5%	31.8%	40.5%	35.9%	11.4%	6.8%	1.8%
60～64歳	239	26	14	6	41	41	28	30	30	13	8	2
	-	29.9%	16.1%	6.9%	47.1%	47.1%	32.2%	34.5%	34.5%	14.9%	9.2%	2.3%
65～69歳	235	32	13	7	37	41	22	32	29	15	5	2
	-	38.1%	15.5%	8.3%	44.0%	48.8%	26.2%	38.1%	34.5%	17.9%	6.0%	2.4%
70～74歳	385	50	25	11	68	55	35	53	57	17	11	3
	-	36.2%	18.1%	8.0%	49.3%	39.9%	25.4%	38.4%	41.3%	12.3%	8.0%	2.2%
75歳以上	453	76	23	17	89	52	45	50	57	29	9	6
	-	46.1%	13.9%	10.3%	53.9%	31.5%	27.3%	30.3%	34.5%	17.6%	5.5%	3.6%

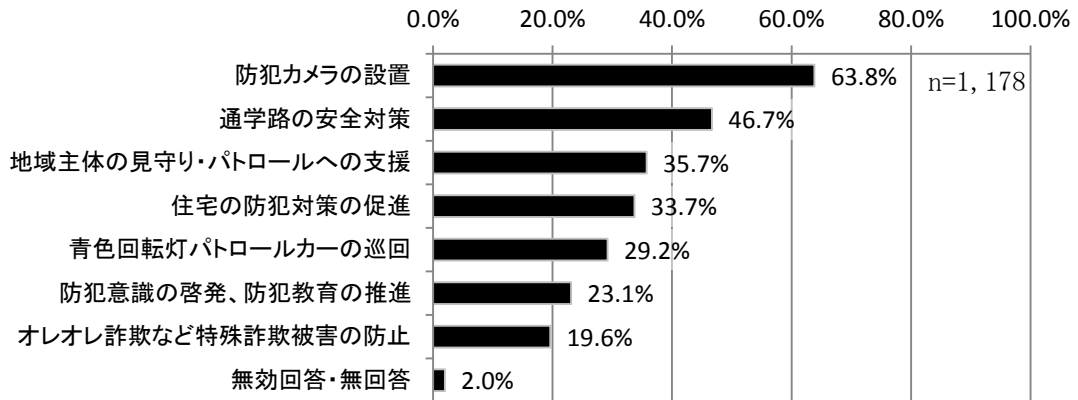
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問 2-2) あなたは、「防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまち」づくりのうち防犯に関する取組について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(3つ以内)

<全体 (n=1,178) >

○「防犯カメラの設置」が63.8%と最も多く、次いで「通学路の安全対策」が46.7%となっています。



<年齢層別>

○「防犯カメラの設置」の割合はどの年齢も高くなっており、特に20歳以上では半数以上となっています。

○10歳代や30歳代は、「通学路の安全対策」の割合が最も高くなっており、これらの年齢層は自分や自分の子どもが通学する世代であるためと推察されます。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	住宅の防犯対策の促進	地域主体の見守り・パトロールへの支援	通学路の安全対策	防犯意識の啓発、防犯教育の推進	青色回転灯/パトロールカーの巡回	防犯カメラの設置	オレオレ詐欺など特殊詐欺被害の防止	無回答・無効回答
16～19歳	65	13	5	14	5	9	11	8	0
	-	48.1%	18.5%	51.9%	18.5%	33.3%	40.7%	29.6%	0.0%
20～29歳	187	28	30	33	17	22	47	10	0
	-	36.8%	39.5%	43.4%	22.4%	28.9%	61.8%	13.2%	0.0%
30～39歳	387	53	60	93	37	43	76	23	2
	-	35.3%	40.0%	62.0%	24.7%	28.7%	50.7%	15.3%	1.3%
40～49歳	570	72	70	123	48	74	142	38	3
	-	32.7%	31.8%	55.9%	21.8%	33.6%	64.5%	17.3%	1.4%
50～59歳	550	65	92	87	51	69	140	44	2
	-	29.5%	41.8%	39.5%	23.2%	31.4%	63.6%	20.0%	0.9%
60～64歳	226	24	32	38	18	25	64	23	2
	-	27.6%	36.8%	43.7%	20.7%	28.7%	73.6%	26.4%	2.3%
65～69歳	211	23	31	39	23	21	58	12	4
	-	27.4%	36.9%	46.4%	27.4%	25.0%	69.0%	14.3%	4.8%
70～74歳	361	57	45	58	33	36	90	38	4
	-	41.3%	32.6%	42.0%	23.9%	26.1%	65.2%	27.5%	2.9%
75歳以上	407	58	51	61	38	41	119	34	5
	-	35.2%	30.9%	37.0%	23.0%	24.8%	72.1%	20.6%	3.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)
 回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

(2) 「子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまち」をつくるプロジェクト

2 「子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまち」をつくるプロジェクト

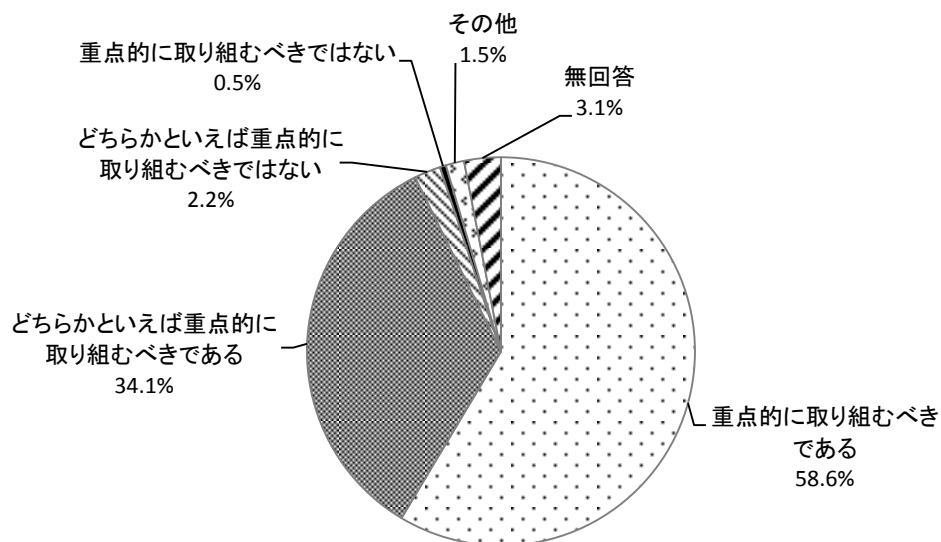
《目指すまちの姿》

- ・安心して子どもを産み育られる環境づくりが進んでいます。
- ・すべての子どもが健やかに成長するとともに、すべての若者が社会の一員としての自覚と責任をもって生活しています。
- ・次代を担うすべての子どもたちが夢を持って健やかに育っています。

問3) 「子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまち」をつくるプロジェクトの《目指すまちの姿》について、どのように感じますか。

<全体 (n=1,178) >

○「重点的に取り組むべきである」が58.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば重点的に取り組むべきである」が34.1%となっており、合計で全体の9割以上となっています。

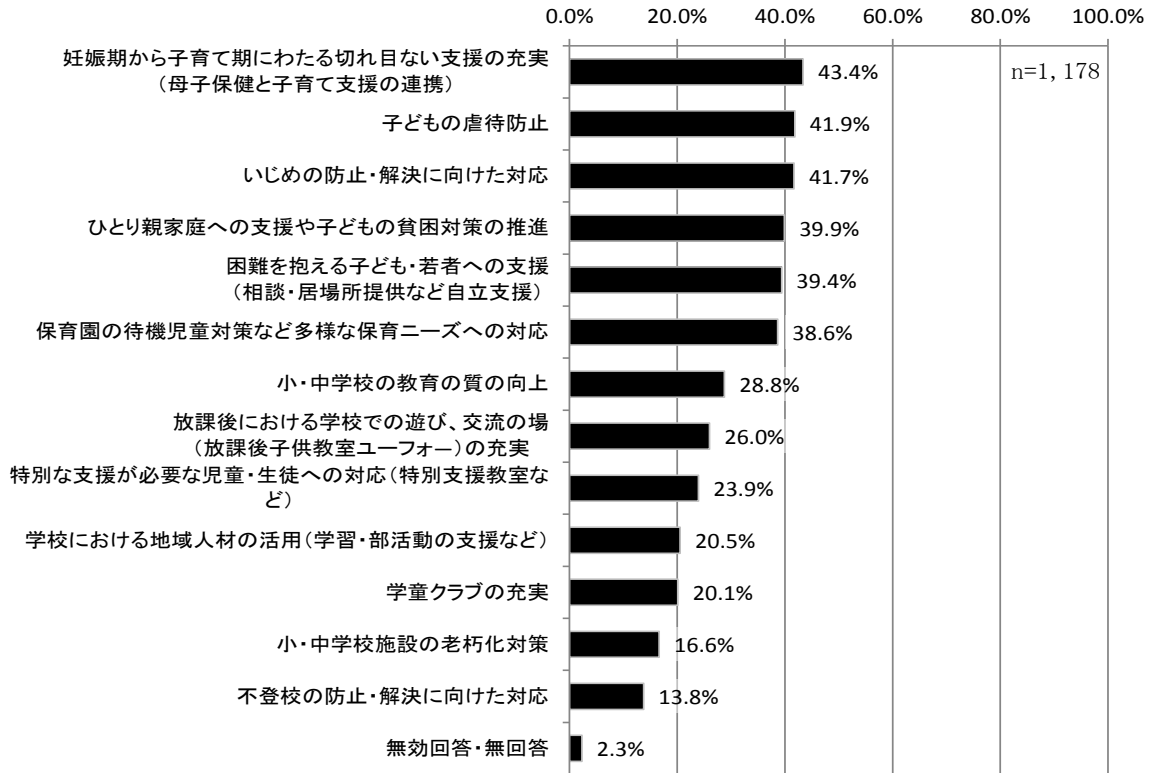


n=1,178

問4)「子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(5つ以内)

<全体 (n=1, 178)>

○「妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実(母子保健と子育て支援の連携)」が43.4%と最も多く、次いで「子どもの虐待防止」の41.9%、「いじめの防止・解決に向けた対応」の41.7%の順となっています。



<年齢層別>

○20～49歳、60～64歳では「妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実(母子保健と子育て支援の連携)」の割合が最も高くなっています。

○10歳代、65～69歳では「子どもの虐待防止」の割合が最も高くなっています。

○50歳代や、70歳以上では「いじめの防止・解決に向けた対応」の割合が最も高くなっています。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実(母子保健と子育て支援の連携)	ひとり親家庭への支援や子どもの貧困対策の推進	子どもの虐待防止	保育園の待機児童対策など多様な保育ニーズへの対応	学童クラブの充実	放課後における学校での遊び、交流の場(放課後子供教室ユーフォー)の充実	困難を抱える子ども・若者への支援(相談・居場所提供など自立支援)	小・中学校の教育の質の向上	小・中学校施設の老朽化対策	学校における地域人材の活用(学習・部活動の支援など)	いじめの防止・解決に向けた対応	不登校の防止・解決に向けた対応	特別な支援が必要な児童・生徒への対応(特別支援教室など)	無効回答・無効回答
16～19歳	101	12	11	14	6	4	5	9	6	7	3	9	5	10	0
	-	44.4%	40.7%	51.9%	22.2%	14.8%	18.5%	33.3%	22.2%	25.9%	11.1%	33.3%	18.5%	37.0%	0.0%
20～29歳	283	45	35	28	33	11	17	24	21	11	10	23	7	18	0
	-	59.2%	46.1%	36.8%	43.4%	14.5%	22.4%	31.6%	27.6%	14.5%	13.2%	30.3%	9.2%	23.7%	0.0%
30～39歳	624	82	46	46	79	45	47	42	54	45	28	53	20	37	0
	-	54.7%	30.7%	30.7%	52.7%	30.0%	31.3%	28.0%	36.0%	30.0%	18.7%	35.3%	13.3%	24.7%	0.0%
40～49歳	854	89	66	84	75	52	67	81	80	49	61	74	29	45	2
	-	40.5%	30.0%	38.2%	34.1%	23.6%	30.5%	36.8%	36.4%	22.3%	27.7%	33.6%	13.2%	20.5%	0.9%
50～59歳	830	82	86	92	67	31	44	95	58	35	51	97	27	59	6
	-	37.3%	39.1%	41.8%	30.5%	14.1%	20.0%	43.2%	26.4%	15.9%	23.2%	44.1%	12.3%	26.8%	2.7%
60～64歳	355	50	46	38	46	16	21	35	19	7	14	35	10	16	2
	-	57.5%	52.9%	43.7%	52.9%	18.4%	24.1%	40.2%	21.8%	8.0%	16.1%	40.2%	11.5%	18.4%	2.3%
65～69歳	359	37	40	42	38	25	21	35	19	12	20	37	15	16	2
	-	44.0%	47.6%	50.0%	45.2%	29.8%	25.0%	41.7%	22.6%	14.3%	23.8%	44.0%	17.9%	19.0%	2.4%
70～74歳	578	45	63	70	51	23	33	70	39	21	32	77	16	37	1
	-	32.6%	45.7%	50.7%	37.0%	16.7%	23.9%	50.7%	28.3%	15.2%	23.2%	55.8%	11.6%	26.8%	0.7%
75歳以上	649	65	75	74	58	28	46	68	38	8	23	80	32	41	13
	-	39.4%	45.5%	44.8%	35.2%	17.0%	27.9%	41.2%	23.0%	4.8%	13.9%	48.5%	19.4%	24.8%	7.9%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

(3) 「高齢者・障害者にやさしいだれもが安心して住み続けられるまち」をつくるプロジェクト

3 「高齢者・障害者にやさしいだれもが安心して住み続けられるまち」をつくるプロジェクト

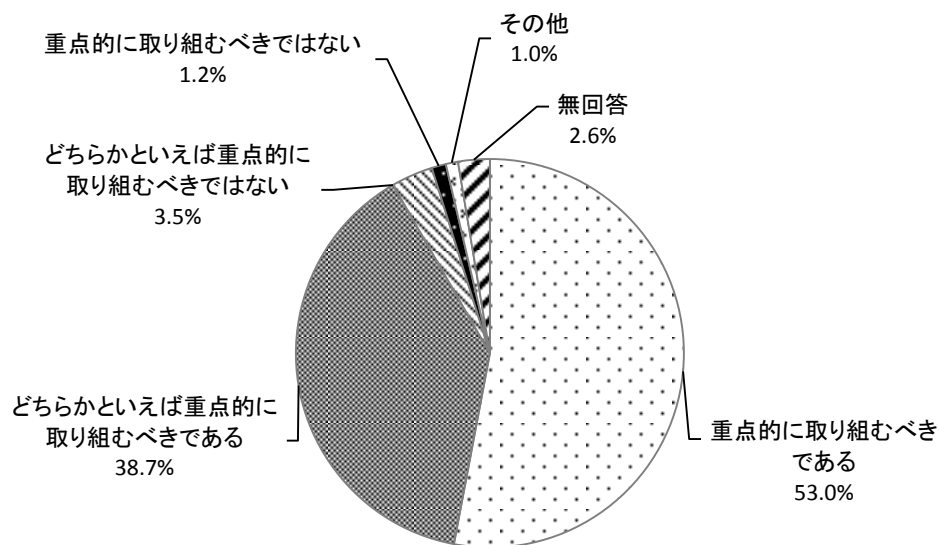
《目指すまちの姿》

- ・高齢者が、住み慣れた地域で安心して生きがいをもって暮らすことができるよう、高齢者を支える取組が進んでいます。
- ・障害者が、地域で安心して自立した生活をおくれるよう、障害者を支える取組が進んでいます。
- ・地域でともに認め合い、助け合い、支え合う、地域福祉の充実が図られています。

問5) 「高齢者・障害者にやさしいだれもが安心して住み続けられるまち」をつくるプロジェクトの《目指すまちの姿》について、どのように感じますか。

<全体 (n=1,178) >

○「重点的に取り組むべきである」が53.0%と最も多く、次いで「どちらかといえば重点的に取り組むべきである」が38.7%となっており、合計で全体の9割以上となっています。

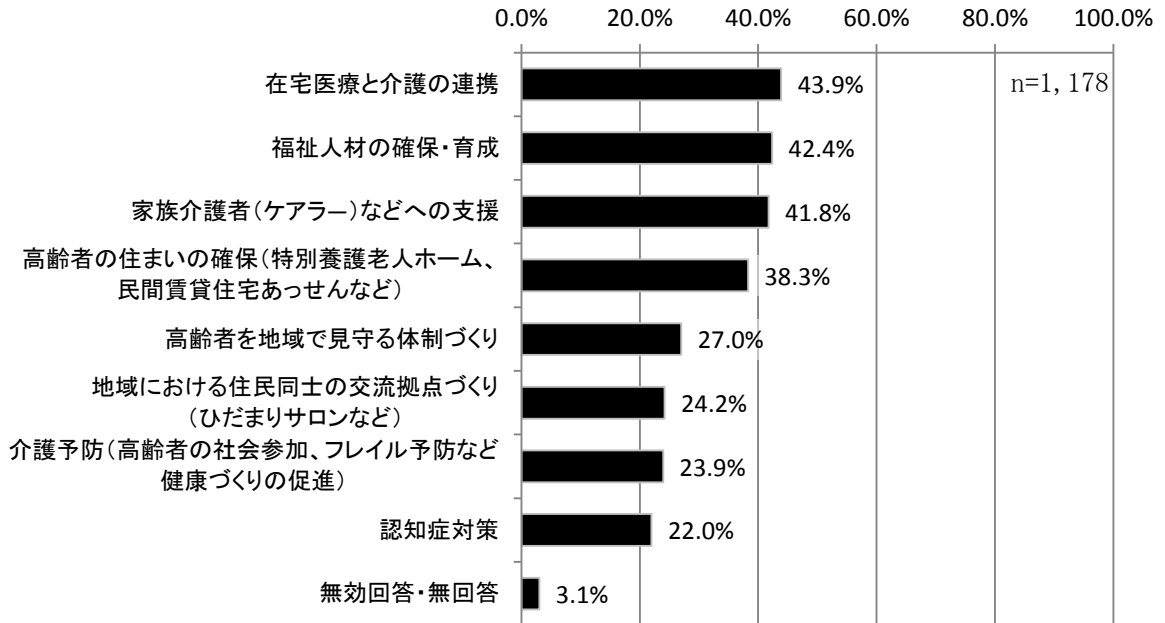


n=1,178

問 6-1) 「高齢者・障害者にやさしいだれもが安心して住み続けられるまち」づくりのうち高齢者に関する取組について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(3つ以内)

<全体 (n=1,178) >

○「在宅医療と介護の連携」が43.9%と最も多く、次いで「福祉人材の確保・育成」の42.4%、「家族介護者(ケアラー)などへの支援」の41.8%の順となっています。



<年齢層別>

○60歳以上では「在宅医療と介護の連携」の割合が最も高くなっています。

○「福祉人材の確保・育成」の割合は、16～69歳で高くなっており、特に50歳代で最も高くなっています。

○16～49歳では「家族介護者(ケアラー)などへの支援」の割合が最も高くなっています。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	地域における住民同士の交流拠点づくり(ひだまりサロンなど)	福祉人材の確保・育成	高齢者を地域で見守る体制づくり	在宅医療と介護の連携	認知症対策	家族介護者(ケアラー)などへの支援	介護予防(高齢者の社会参加、フレイル予防など健康づくりの促進)	高齢者の住まいの確保(特別養護老人ホーム、民間賃貸住宅あっせんなど)	無効回答・無効回答
16～19歳	69	7	11	11	11	7	12	7	3	0
	-	25.9%	40.7%	40.7%	40.7%	25.9%	44.4%	25.9%	11.1%	0.0%
20～29歳	184	23	33	17	21	18	36	16	16	4
	-	30.3%	43.4%	22.4%	27.6%	23.7%	47.4%	21.1%	21.1%	5.3%
30～39歳	403	40	64	36	48	42	85	36	49	3
	-	26.7%	42.7%	24.0%	32.0%	28.0%	56.7%	24.0%	32.7%	2.0%
40～49歳	593	57	94	45	90	47	109	45	101	5
	-	25.9%	42.7%	20.5%	40.9%	21.4%	49.5%	20.5%	45.9%	2.3%
50～59歳	603	55	108	62	97	48	90	53	85	5
	-	25.0%	49.1%	28.2%	44.1%	21.8%	40.9%	24.1%	38.6%	2.3%
60～64歳	239	19	38	26	46	12	31	28	38	1
	-	21.8%	43.7%	29.9%	52.9%	13.8%	35.6%	32.2%	43.7%	1.1%
65～69歳	231	19	38	32	48	10	29	20	31	4
	-	22.6%	45.2%	38.1%	57.1%	11.9%	34.5%	23.8%	36.9%	4.8%
70～74歳	369	29	46	44	68	35	48	44	51	4
	-	21.0%	33.3%	31.9%	49.3%	25.4%	34.8%	31.9%	37.0%	2.9%
75歳以上	423	33	66	41	82	37	51	32	74	7
	-	20.0%	40.0%	24.8%	49.7%	22.4%	30.9%	19.4%	44.8%	4.2%

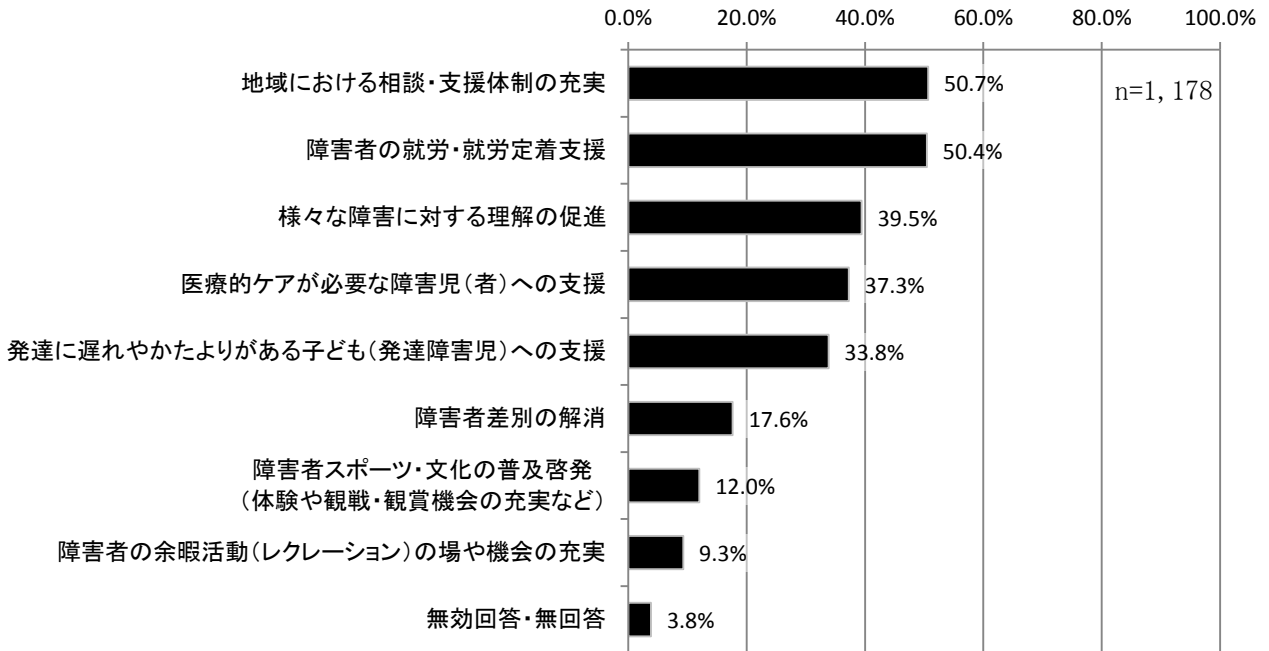
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問 6-2) 「高齢者・障害者にやさしいだれもが安心して住み続けられるまち」づくりのうち障害者に関する取組について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(3つ以内)

<全体 (n=1, 178) >

○「地域における相談・支援体制の充実」が50.7%と最も多く、次いで「障害者の就労・就労定着支援」の50.4%、「様々な障害に対する理解の促進」の39.5%の順となっています。



<年齢層別>

○60歳以上では「地域における相談・支援体制の充実」の割合が最も高くなっています。

○20歳代や40歳～59歳では「障害者の就労・就労定着支援」の割合が最も高くなっています。

○10歳代では「様々な障害に対する理解の促進」の割合が最も高くなっています。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	地域における相談・支援体制の充実	医療的ケアが必要な障害児(者)への支援	発達に遅れやかたよりがある子ども(発達障害児)への支援	障害者の就労・就労定着支援	障害者の余暇活動(レクリエーション)の場や機会の充実	様々な障害に対する理解の促進	障害者差別の解消	障害者スポーツ・文化の普及啓発(体験や観戦・観賞機会の充実など)	無回答・無効回答
16～19歳	63	10	8	7	8	2	12	6	9	1
	-	37.0%	29.6%	25.9%	29.6%	7.4%	44.4%	22.2%	33.3%	3.7%
20～29歳	192	25	31	28	33	4	30	25	12	4
	-	32.9%	40.8%	36.8%	43.4%	5.3%	39.5%	32.9%	15.8%	5.3%
30～39歳	380	67	59	75	72	11	51	21	19	5
	-	44.7%	39.3%	50.0%	48.0%	7.3%	34.0%	14.0%	12.7%	3.3%
40～49歳	557	99	79	81	124	21	75	37	34	7
	-	45.0%	35.9%	36.8%	56.4%	9.5%	34.1%	16.8%	15.5%	3.2%
50～59歳	567	123	81	67	125	20	89	33	25	4
	-	55.9%	36.8%	30.5%	56.8%	9.1%	40.5%	15.0%	11.4%	1.8%
60～64歳	227	47	40	26	44	8	39	13	7	3
	-	54.0%	46.0%	29.9%	50.6%	9.2%	44.8%	14.9%	8.0%	3.4%
65～69歳	220	45	27	28	40	7	42	18	8	5
	-	53.6%	32.1%	33.3%	47.6%	8.3%	50.0%	21.4%	9.5%	6.0%
70～74歳	362	86	51	41	69	15	56	30	12	2
	-	62.3%	37.0%	29.7%	50.0%	10.9%	40.6%	21.7%	8.7%	1.4%
75歳以上	395	97	56	38	71	23	60	23	14	13
	-	58.8%	33.9%	23.0%	43.0%	13.9%	36.4%	13.9%	8.5%	7.9%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

(4) 「にぎわいと交流のある活気に満ちたまち」をつくるプロジェクト

4 「にぎわいと交流のある活気に満ちたまち」をつくるプロジェクト

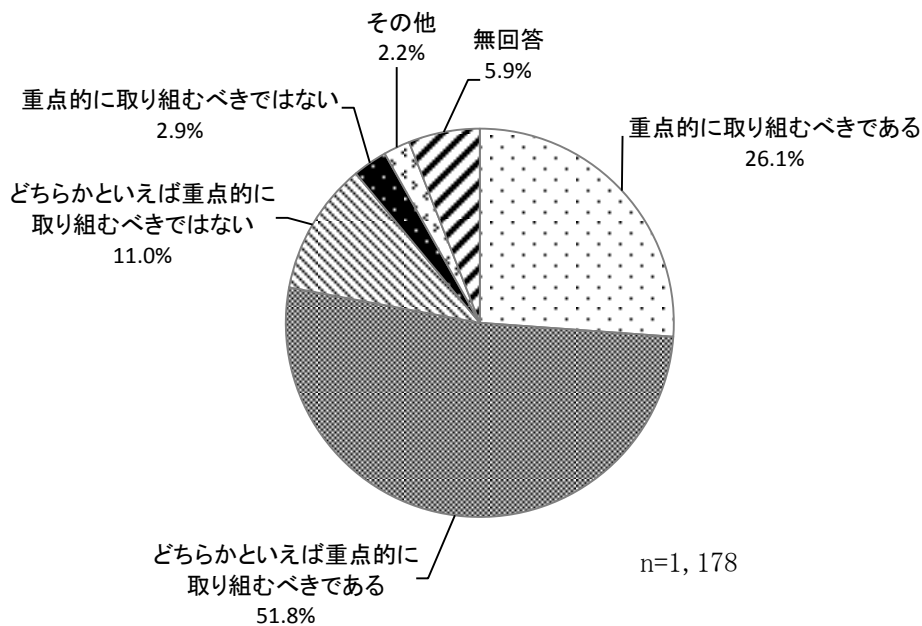
《目指すまちの姿》

- ・利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流のある都市空間の創出，様々な都市機能の集積により魅力ある市街地が形成されています。
- ・まちの回遊性を高め，歩いて楽しいまちづくりが形成されているとともに，映画やスポーツなどの地域資源を生かし，まちの活性化が図られています。

問7) 「にぎわいと交流のある活気に満ちたまち」をつくるプロジェクトの《目指すまちの姿》について，どのように感じますか。

<全体 (n=1,178) >

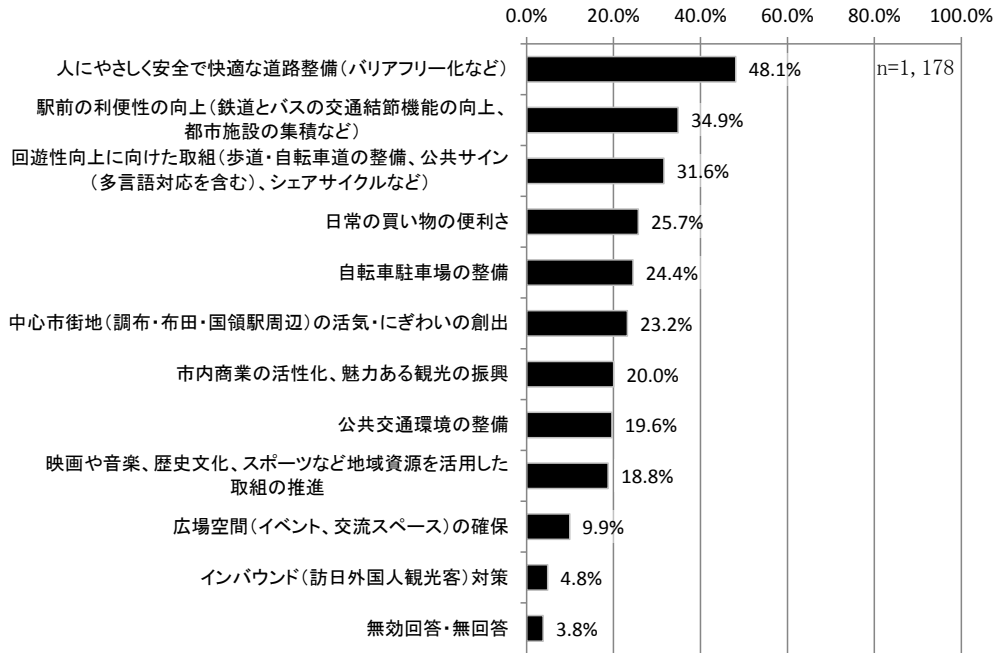
○「どちらかといえば重点的に取り組むべきである」が51.8%と最も多く，次いで「重点的に取り組むべきである」が26.1%となっており，合計で全体の約8割となっています。



問 8) 「にぎわいと交流のある活気に満ちたまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(3つ以内)

<全体 (n=1,178) >

○「人にやさしく安全で快適な道路整備(バリアフリー化など)」が48.1%と最も多く、次いで「駅前の利便性の向上(鉄道とバスの交通結節機能の向上, 都市施設の集積など)」の34.9%, 「回遊性向上に向けた取組(歩道・自転車道の整備, 公共サイン(多言語対応を含む), シェアサイクルなど)」の31.6%の順となっています。



<地域別>

- どの地域でも「人にやさしく安全で快適な道路整備(バリアフリー化など)」の割合が最も高くなっています。特に、東部地域では5割を超えています。
- 「駅前の利便性の向上(鉄道とバスの交通結節機能の向上, 都市施設の集積など)」の割合は、東部地域及び南部地域(中心市街地以外)で高い割合となっています。
- 「回遊性向上に向けた取組(歩道・自転車道の整備, 公共サイン(多言語対応を含む), シェアサイクルなど)」の割合は2019年, 2020年の国際大会の競技会場が立地する西部地域が最も高く, 約4割となっています。

地域別	回答者数 (無効回答・無回答含む)	回答数 (無効回答・無回答含む)	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわいの創出	駅前の利便性の向上(鉄道とバスの交通結節機能の向上, 都市施設の集積など)	回遊性向上に向けた取組(歩道・自転車道の整備, 公共サイン(多言語対応を含む), シェアサイクルなど)	人にやさしく安全で快適な道路整備(バリアフリー化など)	広場空間(イベント, 交流スペース)の確保	市内商業の活性化, 魅力ある観光の振興	映画や音楽, 歴史文化, スポーツなど地域資源を活用した取組の推進	インバウンド(訪日外国人観光客)対策	日常の買い物の便利さ	公共交通環境の整備	自転車駐車場の整備	無回答・無効回答
東部地域	283	744	31	110	87	153	30	59	50	19	75	71	52	7
	100.0%	-	11.0%	38.9%	30.7%	54.1%	10.6%	20.8%	17.7%	6.7%	26.5%	25.1%	18.4%	2.5%
北部地域	254	665	60	78	77	112	19	56	47	18	68	58	60	12
	100.0%	-	23.6%	30.7%	30.3%	44.1%	7.5%	22.0%	18.5%	7.1%	26.8%	22.8%	23.6%	4.7%
南部地域(中心市街地)	194	512	74	68	57	82	22	42	39	5	43	30	41	9
	100.0%	-	38.1%	35.1%	29.4%	42.3%	11.3%	21.6%	20.1%	2.6%	22.2%	15.5%	21.1%	4.6%
南部地域(中心市街地以外)	226	608	73	87	62	96	23	39	42	6	53	38	80	9
	100.0%	-	32.3%	38.5%	27.4%	42.5%	10.2%	17.3%	18.6%	2.7%	23.5%	16.8%	35.4%	4.0%
西部地域	204	550	33	64	83	116	20	35	41	9	61	33	48	7
	100.0%	-	16.2%	31.4%	40.7%	56.9%	9.8%	17.2%	20.1%	4.4%	29.9%	16.2%	23.5%	3.4%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

<年齢層別>

○20 歳代を除いて、「人にやさしく安全で快適な道路整備（バリアフリー化など）」の割合が最も高くなっています。

○20 歳代では「駅前の利便性の向上（鉄道とバスの交通結節機能の向上、都市施設の集積など）」の割合が最も高くなっています。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわいの創出	駅前の利便性の向上(鉄道とバスの交通結節機能の向上、都市施設の集積など)	回遊性向上に向けた取組(歩道・自転車道の整備、公共サイン(多言語対応を含む)、シェアサイクルなど)	人にやさしく安全で快適な道路整備(バリアフリー化など)	広場空間(イベント、交流スペース)の確保	市内商業の活性化、魅力ある観光の振興	映画や音楽、歴史文化、スポーツなど地域資源を活用した取組の推進	インバウンド(訪日外国人観光客)対策	日常の買い物利便性	公共交通環境の整備	自転車駐車場の整備	無回答・無効回答
16~19歳	69	6	10	3	15	9	2	5	3	7	2	6	1
	-	22.2%	37.0%	11.1%	55.6%	33.3%	7.4%	18.5%	11.1%	25.9%	7.4%	22.2%	3.7%
20~29歳	202	26	35	22	26	2	16	14	7	19	10	23	2
	-	34.2%	46.1%	28.9%	34.2%	2.6%	21.1%	18.4%	9.2%	25.0%	13.2%	30.3%	2.6%
30~39歳	408	46	51	50	68	10	33	32	5	40	28	42	3
	-	30.7%	34.0%	33.3%	45.3%	6.7%	22.0%	21.3%	3.3%	26.7%	18.7%	28.0%	2.0%
40~49歳	588	62	70	70	93	15	46	54	13	59	45	54	7
	-	28.2%	31.8%	31.8%	42.3%	6.8%	20.9%	24.5%	5.9%	26.8%	20.5%	24.5%	3.2%
50~59歳	593	42	70	66	100	14	51	50	14	52	51	76	7
	-	19.1%	31.8%	30.0%	45.5%	6.4%	23.2%	22.7%	6.4%	23.6%	23.2%	34.5%	3.2%
60~64歳	226	15	28	29	44	14	20	16	3	22	8	23	4
	-	17.2%	32.2%	33.3%	50.6%	16.1%	23.0%	18.4%	3.4%	25.3%	9.2%	26.4%	4.6%
65~69歳	217	18	31	24	48	11	13	12	1	18	19	18	4
	-	21.4%	36.9%	28.6%	57.1%	13.1%	15.5%	14.3%	1.2%	21.4%	22.6%	21.4%	4.8%
70~74歳	376	30	56	54	78	17	24	14	2	35	37	26	3
	-	21.7%	40.6%	39.1%	56.5%	12.3%	17.4%	10.1%	1.4%	25.4%	26.8%	18.8%	2.2%
75歳以上	417	27	56	51	91	23	28	23	9	48	30	20	11
	-	16.4%	33.9%	30.9%	55.2%	13.9%	17.0%	13.9%	5.5%	29.1%	18.2%	12.1%	6.7%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 15 回答数が2番目に多い: 10

(5) 「人と自然が共生するうるおいのあるまち」をつくるプロジェクト

5 「人と自然が共生するうるおいのあるまち」をつくるプロジェクト

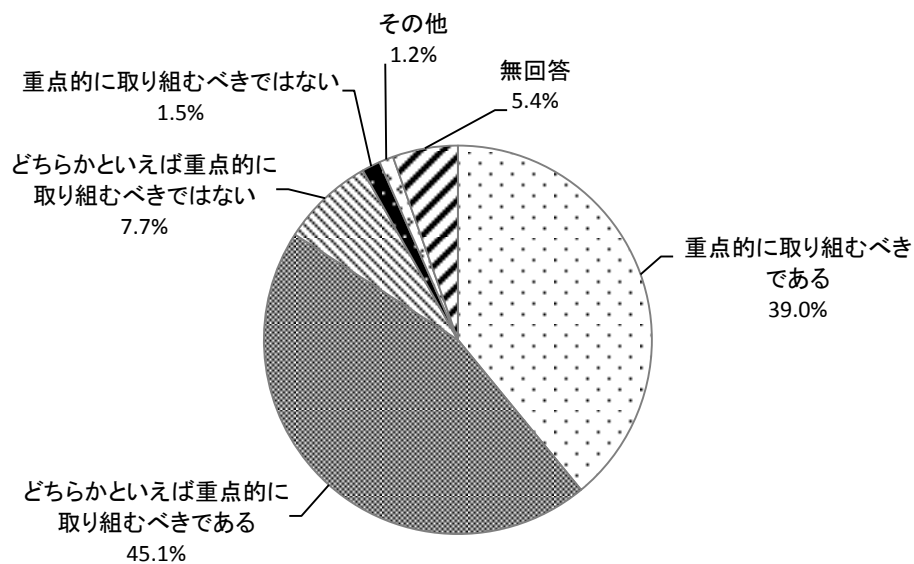
《目指すまちの姿》

- ・調布の大切な財産である緑と水辺環境が守り育てられ、うるおいのあるまちが継承されています。
- ・地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組が進められています。

問9) 「人と自然が共生するうるおいのあるまち」をつくるプロジェクトの《目指すまちの姿》について、どのように感じますか。

<全体 (n=1,178) >

○「どちらかといえば重点的に取り組むべきである」が45.1%と最も多く、次いで「重点的に取り組むべきである」が39.0%となっており、合計で全体の8割以上となっています。

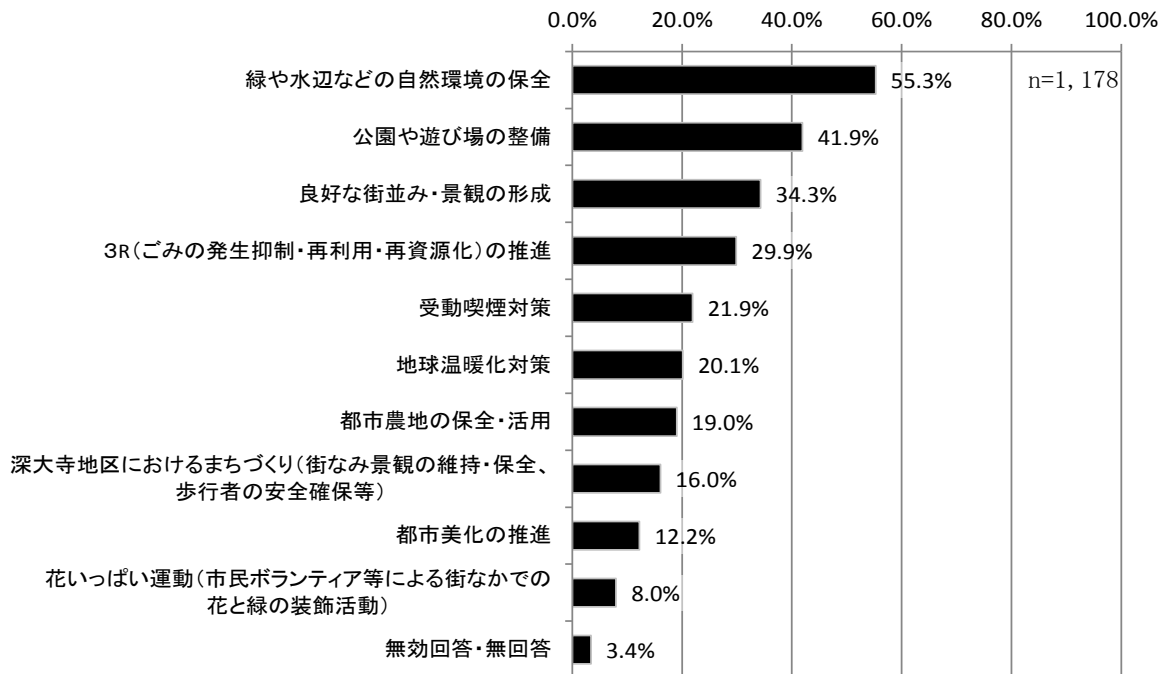


n=1,178

問10)「人と自然が共生するうるおいのあるまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(3つ以内)

<全体 (n=1,178)>

○「緑や水辺などの自然環境の保全」が55.3%と最も多く、次いで「公園や遊び場の整備」の41.9%、「良好な街並み・景観の形成」の34.3%の順となっています。



<年齢層別>

○20歳代、40歳以上では「緑や水辺などの自然環境の保全」の割合が最も高くなっています。

○16～49歳では「公園や遊び場の整備」の割合が最も高くなっています。これらの年齢層は自分や自分の子どもが公園等を利用する世代であるためと推察されます。

○「良好な街並み・景観の形成」は、50歳代、65歳以上で高い割合となっており、70～74歳では4割以上となっています。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	緑や水辺などの自然環境の保全	花いっぱい運動(市民ボランティア等による街なかでの花と緑の装飾活動)	公園や遊び場の整備	都市農地の保全・活用	良好な街並み・景観の形成	深大寺地区におけるまちづくり(街なみ景観の維持・保全、歩行者の安全確保等)	地球温暖化対策	3R(ごみの発生抑制・再利用・再資源化)の推進	受動喫煙対策	都市美化の推進	無回答・無効回答
16～19歳	66	10	1	12	4	9	2	8	9	7	3	1
	-	37.0%	3.7%	44.4%	14.8%	33.3%	7.4%	29.6%	33.3%	25.9%	11.1%	3.7%
20～29歳	190	37	10	37	8	25	15	10	12	25	8	3
	-	48.7%	13.2%	48.7%	10.5%	32.9%	19.7%	13.2%	15.8%	32.9%	10.5%	3.9%
30～39歳	404	84	12	91	16	50	25	14	44	51	16	1
	-	56.0%	8.0%	60.7%	10.7%	33.3%	16.7%	9.3%	29.3%	34.0%	10.7%	0.7%
40～49歳	584	108	16	108	37	69	41	50	59	68	24	4
	-	49.1%	7.3%	49.1%	16.8%	31.4%	18.6%	22.7%	26.8%	30.9%	10.9%	1.8%
50～59歳	581	114	11	70	59	86	39	47	67	50	33	5
	-	51.8%	5.0%	31.8%	26.8%	39.1%	17.7%	21.4%	30.5%	22.7%	15.0%	2.3%
60～64歳	225	50	7	33	21	25	14	20	30	13	9	3
	-	57.5%	8.0%	37.9%	24.1%	28.7%	16.1%	23.0%	34.5%	14.9%	10.3%	3.4%
65～69歳	221	53	6	30	17	31	11	21	24	12	12	4
	-	63.1%	7.1%	35.7%	20.2%	36.9%	13.1%	25.0%	28.6%	14.3%	14.3%	4.8%
70～74歳	371	82	14	48	26	59	16	29	48	22	20	7
	-	59.4%	10.1%	34.8%	18.8%	42.8%	11.6%	21.0%	34.8%	15.9%	14.5%	5.1%
75歳以上	418	107	16	58	34	47	24	38	55	9	19	11
	-	64.8%	9.7%	35.2%	20.6%	28.5%	14.5%	23.0%	33.3%	5.5%	11.5%	6.7%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

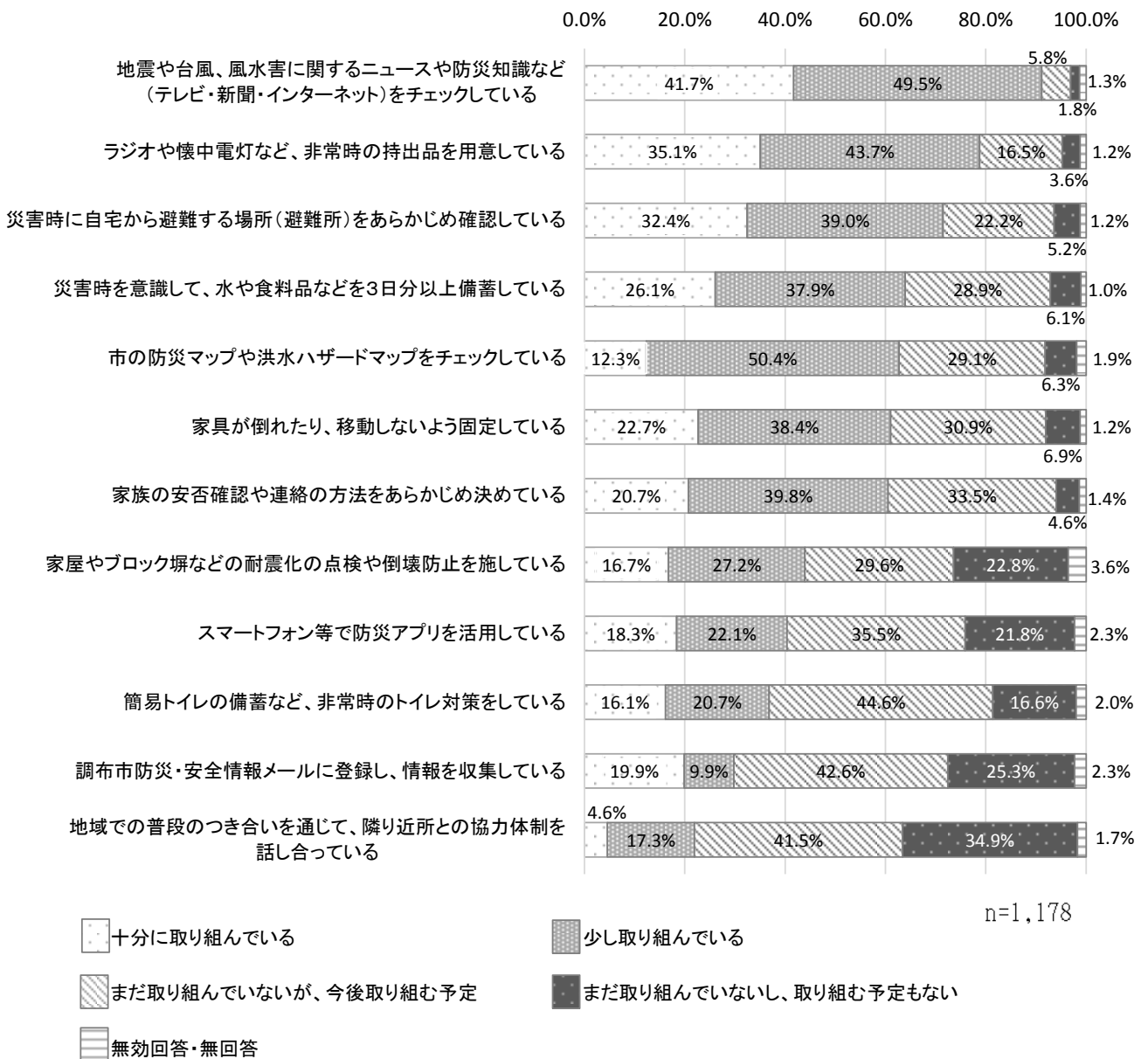
3 「日ごろの意識や行動」について

【防災について】

問 11) あなたは、日ごろから防災対策として以下のことを行っていますか。

<全体 (n=1,178) >

○「十分に取り組んでいる」「少し取り組んでいる」の合計が最も多いのは、「地震や台風、風水害に関するニュースや防災知識など（テレビ・新聞・インターネット）をチェックしている」で 91.2%となっており、次いで「ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している」の 78.8%、「災害時に自宅から避難する場所（避難所）をあらかじめ確認している」の 71.4%の順となっています。12 項目のうち 7 項目が半数を超えています。



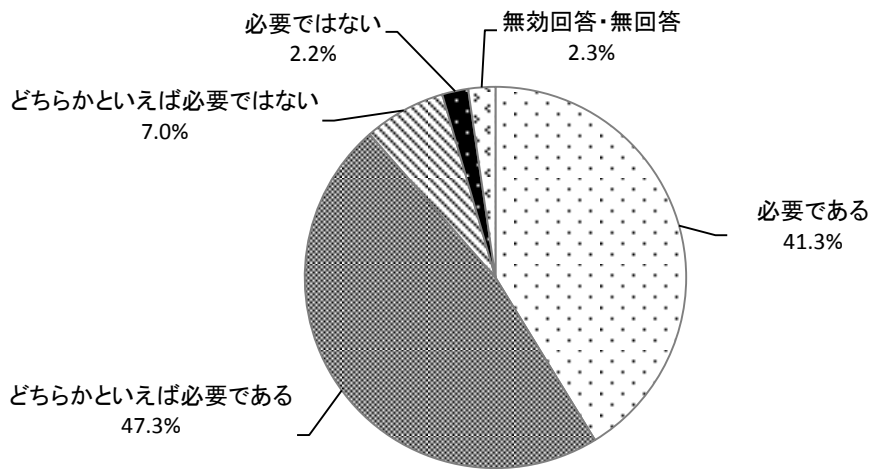
【地域福祉について】

問 12) 近所のつながりの希薄化やひとり暮らしの高齢者などが増加していく中で、市内にはひだまりサロン※などの様々な交流活動の場があります。あなたは、こうした地域交流の場の存在が必要だと思いますか。

※ひだまりサロンとは、市民が主体となって自宅や公共施設等のスペースを活用して、ご近所同士などの市民が気軽に集い、お茶やお食事をしながら、おしゃべりや趣味活動などを行う場です。

<全体 (n=1,178)>

○「必要である」は41.3%,「どちらかといえば必要である」は47.3%であり、合計すると8割以上をとっています。



n=1,178

<年齢層別>

○どの年齢層でも「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計は8割を超えています。特に30歳代や50～64歳では9割を上回っています。

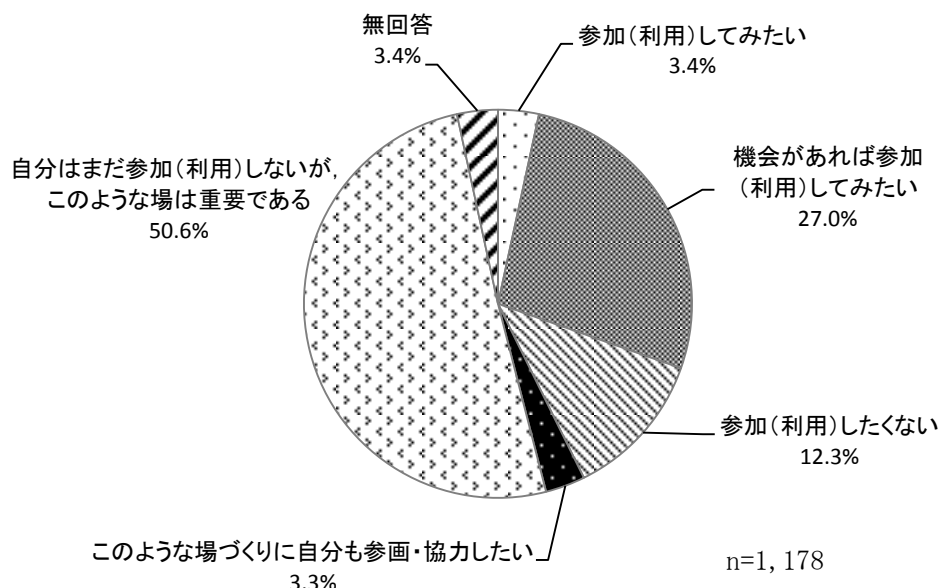
年齢層別	回答者数 (無回答含む)	必要である	どちらか といえば必 要である	どちらか といえば必 要ではない	必要では ない	無回答・ 無効回答
16～19歳	27	15	9	1	2	0
	100.0%	55.6%	33.3%	3.7%	7.4%	0.0%
20～29歳	76	38	23	14	1	0
	100.0%	50.0%	30.3%	18.4%	1.3%	0.0%
30～39歳	150	69	76	3	2	0
	100.0%	46.0%	50.7%	2.0%	1.3%	0.0%
40～49歳	220	105	90	13	9	3
	100.0%	47.7%	40.9%	5.9%	4.1%	1.4%
50～59歳	220	101	103	11	1	4
	100.0%	45.9%	46.8%	5.0%	0.5%	1.8%
60～64歳	87	28	51	4	2	2
	100.0%	32.2%	58.6%	4.6%	2.3%	2.3%
65～69歳	84	27	45	5	2	5
	100.0%	32.1%	53.6%	6.0%	2.4%	6.0%
70～74歳	138	46	72	12	3	5
	100.0%	33.3%	52.2%	8.7%	2.2%	3.6%
75歳以上	165	52	85	19	4	5
	100.0%	31.5%	51.5%	11.5%	2.4%	3.0%

(上段:実数(人),下段:構成比)
 回答数が最も多い:
 回答数が2番目に多い:

問13) あなたは、ひだまりサロンなどの地域交流の場について、参加もしくは利用したいですか。また、運営の協力やお手伝いをしてみたいですか。

<全体 (n=1,178)>

○「自分はまだ参加（利用）しないが、このような場は重要である」が50.6%と最も多く、次いで「機会があれば参加（利用）してみたい」が27.0%となっています。



<年齢層別>

○どの年齢層でも「自分はまだ参加（利用）しないが、このような場は重要である」の割合が最も高く、次いで「機会があれば参加（利用）してみたい」が続いています。

年齢層別	回答者数 (無回答含む)	参加(利 用)してみ たい	機会があ れば参加 (利用)して みたい	参加(利 用)したくない	このよう な場づくりに 自分も参 画・協力し たい	自分はまだ 参加(利 用)しない が、このよ うな場は重 要である	無回答・ 無効回答
16～19歳	27	1	6	6	1	13	0
	100.0%	3.7%	22.2%	22.2%	3.7%	48.1%	0.0%
20～29歳	76	2	16	12	2	42	2
	100.0%	2.6%	21.1%	15.8%	2.6%	55.3%	2.6%
30～39歳	150	3	43	9	8	85	2
	100.0%	2.0%	28.7%	6.0%	5.3%	56.7%	1.3%
40～49歳	220	5	65	29	3	117	1
	100.0%	2.3%	29.5%	13.2%	1.4%	53.2%	0.5%
50～59歳	220	11	55	20	7	124	3
	100.0%	5.0%	25.0%	9.1%	3.2%	56.4%	1.4%
60～64歳	87	1	23	12	5	42	4
	100.0%	1.1%	26.4%	13.8%	5.7%	48.3%	4.6%
65～69歳	84	2	27	6	4	38	7
	100.0%	2.4%	32.1%	7.1%	4.8%	45.2%	8.3%
70～74歳	138	5	40	19	5	59	10
	100.0%	3.6%	29.0%	13.8%	3.6%	42.8%	7.2%
75歳以上	165	10	42	32	4	69	8
	100.0%	6.1%	25.5%	19.4%	2.4%	41.8%	4.8%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

【図書館、公民館などの利用状況・満足度について】

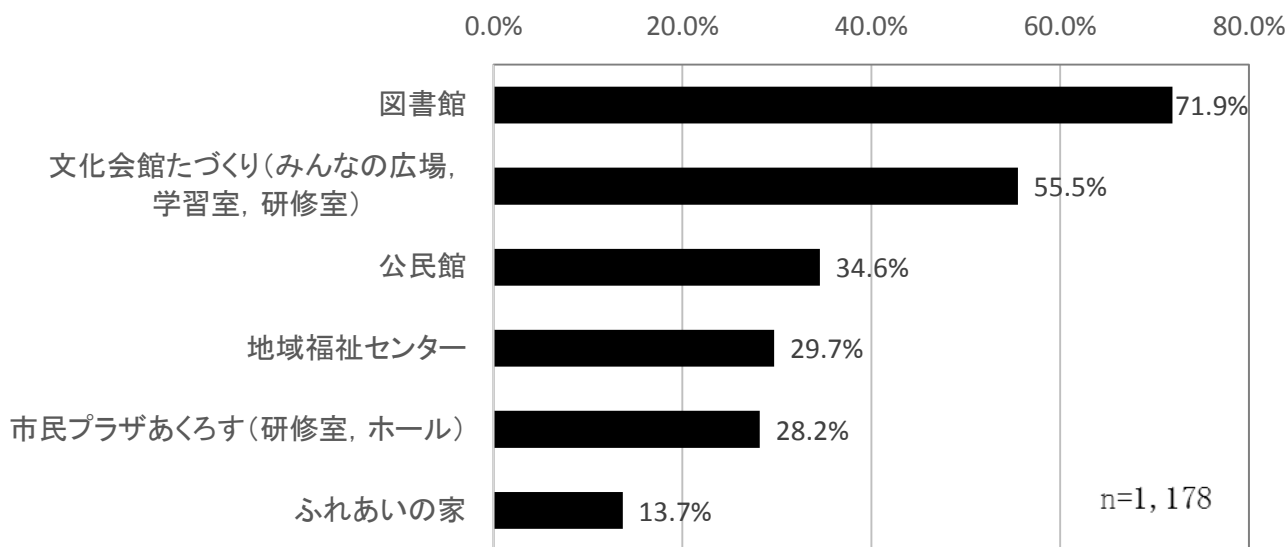
問14) 次のそれぞれの施設に関して、利用の有無と満足度について、それぞれ1つずつ○をつけてください。

<全体 (n=1,178)>

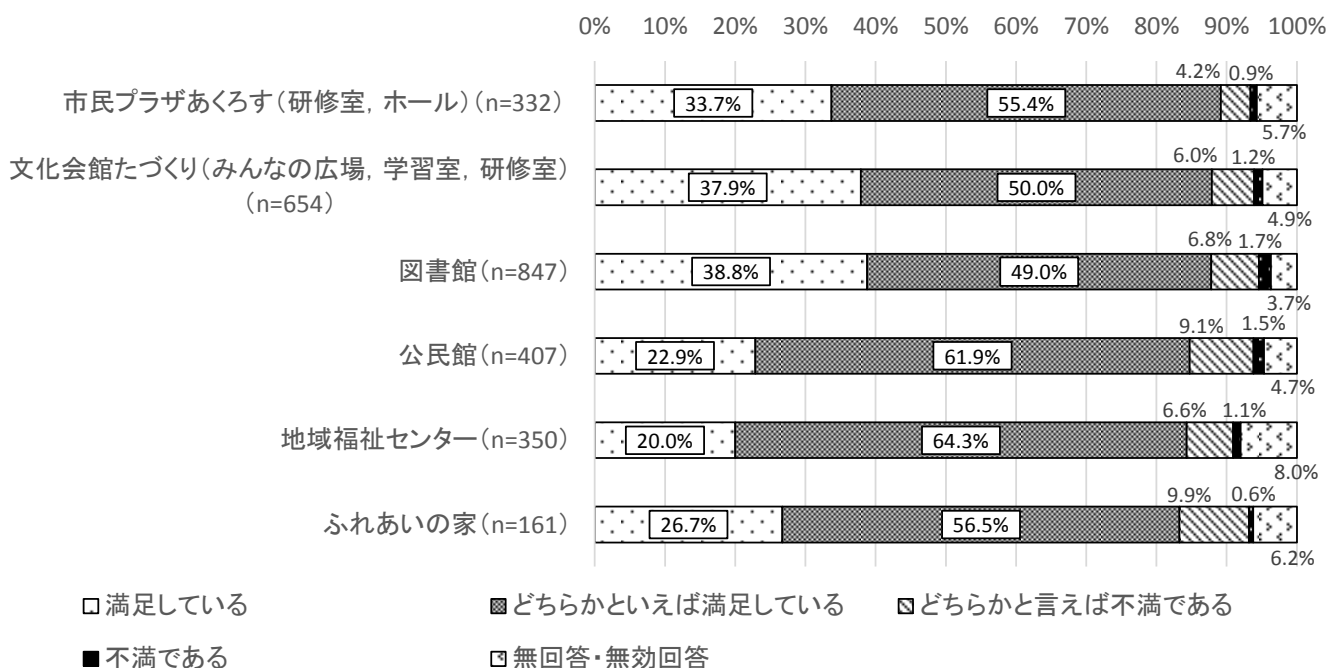
○「図書館」及び「文化会館たづくり(みんなの広場, 学習室, 研修室)」では「利用したことがある」と回答した人の割合が半数以上となっています。

○「利用したことがある」と回答した人の満足度は、全ての施設で「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が8割を超えています。

①利用したことがある割合



②利用したことがある人の満足度

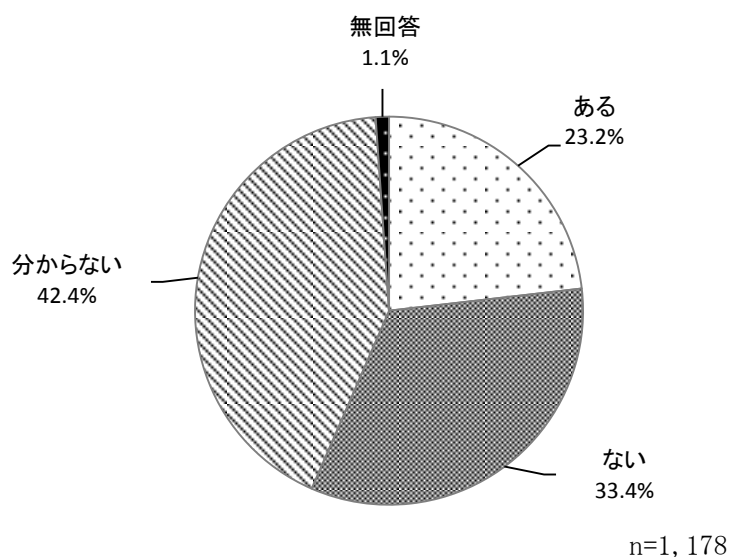


【住環境について】

問 15-1) あなたのお住まいの周辺に空き家（売れ残っている住宅は含まない）はありますか。

<全体 (n=1,178) >

○「分からない」が42.4%と最も多く、次いで「ない」が33.4%となっていますが、約2割が「ある」と回答しています。



<地域別>

○どの地域でも「分からない」の割合が最も高く、次いで「ない」が続いています。「ある」の割合が最も高いのは東部地域で、最も低いのは南部地域（中心市街地）となっています。

地域別	回答者数 (無回答含む)	ある	ない	分からない	無回答・ 無効回答
東部地域	283	75	91	111	6
	100.0%	26.5%	32.2%	39.2%	2.1%
北部地域	254	58	92	102	2
	100.0%	22.8%	36.2%	40.2%	0.8%
南部地域 (中心市街地)	194	36	59	98	1
	100.0%	18.6%	30.4%	50.5%	0.5%
南部地域 (中心市街地以外)	226	53	76	94	3
	100.0%	23.5%	33.6%	41.6%	1.3%
西部地域	204	48	67	89	0
	100.0%	23.5%	32.8%	43.6%	0.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い:



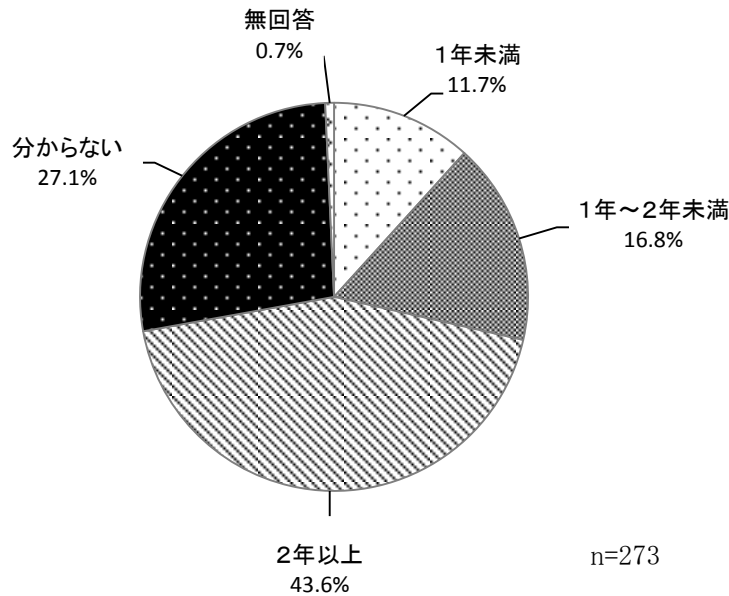
回答数が2番目に多い:



問15-2)「1 ある」と回答した方にうかがいます。その住宅は、どの位の期間、空き家となっていますか。

<全体 (n=273) >

○「2年以上」が43.6%と最も多く、次いで「分からない」の27.1%、「1年～2年未満」の16.8%の順となっています。



<地域別>

○どの地域でも「2年以上」の割合が最も高くなっています。特に、南部地域（中心市街地）では5割となっています。

地域別	回答者数 (無回答含む)	1年未満	1年～2年 未満	2年以上	分からない	無回答・ 無効回答
東部地域	75	7	14	30	23	1
	100.0%	9.3%	18.7%	40.0%	30.7%	1.3%
北部地域	58	4	17	24	12	1
	100.0%	6.9%	29.3%	41.4%	20.7%	1.7%
南部地域 (中心市街地)	36	7	3	18	8	0
	100.0%	19.4%	8.3%	50.0%	22.2%	0.0%
南部地域 (中心市街地以外)	53	6	6	23	18	0
	100.0%	11.3%	11.3%	43.4%	34.0%	0.0%
西部地域	48	7	5	23	13	0
	100.0%	14.6%	10.4%	47.9%	27.1%	0.0%

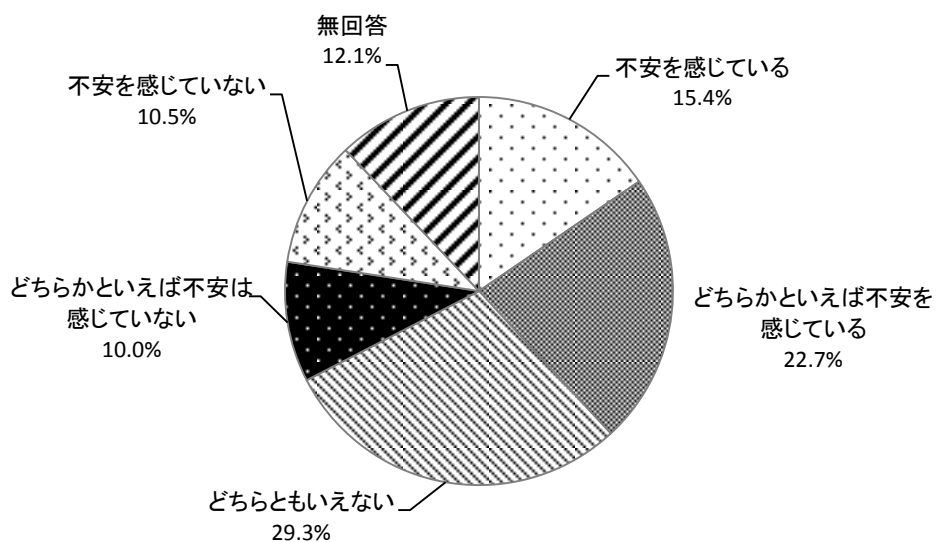
(上段:実数(人),下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問 16) あなたのお住まいの周辺に空き家がある（又は、今後空き家ができる）ことによって不安などを感ずますか。

<全体 (n=1,178) >

○「不安を感じている」が 15.4%、「どちらかといえば不安を感じている」が 22.7%となっており、約 4 割が不安を感じています



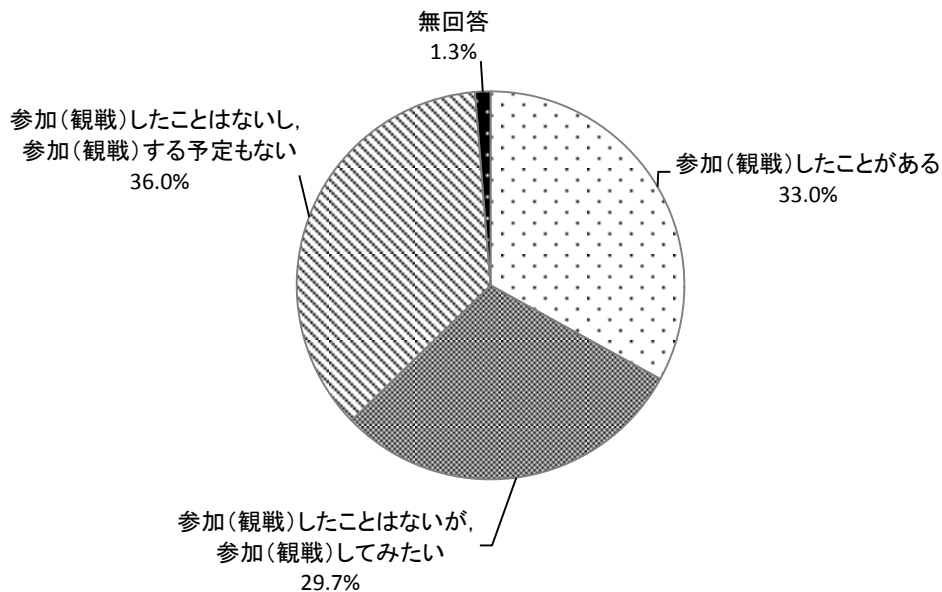
n=1,178

【スポーツ振興について】

問17) あなたは、市内で開催されるスポーツイベントや大会に参加もしくは観戦したことがありますか。

<全体 (n=1,178)>

○「参加(観戦)したことがある」が33.0%、「参加(観戦)したことはないが、参加(観戦)してみたい」が29.7%となっており、合計すると半数を上回っています。



n=1,178

<年齢層別>

○40～59歳では「参加(観戦)したことがある」の割合が最も高く、30歳代では「参加(観戦)したことはないが、参加(観戦)してみたい」の割合が最も高くなっています。

年齢層別	回答者数 (無回答含む)	参加(観戦)したことがある	参加(観戦)したことはないが、参加(観戦)してみたい	参加(観戦)したことはないし、参加(観戦)する予定もない	無回答	無回答・無効回答
16～19歳	27	10	6	11	0	0
	100.0%	37.0%	22.2%	40.7%	0.0%	0.0%
20～29歳	76	26	21	29	0	0
	100.0%	34.2%	27.6%	38.2%	0.0%	0.0%
30～39歳	150	40	63	46	1	0
	100.0%	26.7%	42.0%	30.7%	0.7%	0.0%
40～49歳	220	102	53	63	2	1
	100.0%	46.4%	24.1%	28.6%	0.9%	0.5%
50～59歳	220	93	68	57	2	0
	100.0%	42.3%	30.9%	25.9%	0.9%	0.0%
60～64歳	87	24	22	40	1	0
	100.0%	27.6%	25.3%	46.0%	1.1%	0.0%
65～69歳	84	22	30	31	1	0
	100.0%	26.2%	35.7%	36.9%	1.2%	0.0%
70～74歳	138	28	44	65	1	0
	100.0%	20.3%	31.9%	47.1%	0.7%	0.0%
75歳以上	165	42	40	79	4	0
	100.0%	25.5%	24.2%	47.9%	2.4%	0.0%

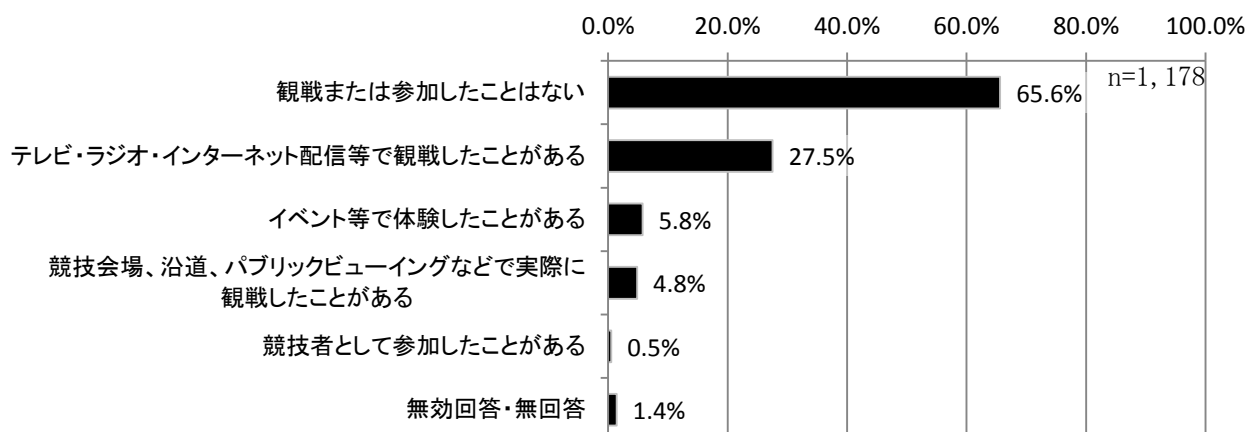
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問18) あなたは、この1年間で、障害者スポーツを体験したり、観戦またはイベント等に参加したりしましたか。(あてはまるものすべて)

<全体 (n=1,178) >

○「観戦または参加したことはない」が65.6%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したことがある」の27.5%、「イベント等で体験したことがある」の5.8%の順となっています。



<年齢層別>

○どの年齢層でも、「観戦または参加したことはない」が最も多くなっています。

○70歳以上では、「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したことがある」割合が3割以上となっています。

年齢層別	回答者数 (無効回答・無回答含む)	回答数 (無効回答・無回答含む)	テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したことがある	競技会場、沿道、パブリックビューイングなどで実際に観戦したことがある	イベント等で体験したことがある	競技者として参加したことがある	観戦または参加したことはない	無効回答・無回答
16～19歳	27	29	8	1	1	0	19	0
	100.0%	-	27.6%	3.4%	3.4%	0.0%	65.5%	0.0%
20～29歳	76	83	16	3	4	0	60	0
	100.0%	-	19.3%	3.6%	4.8%	0.0%	72.3%	0.0%
30～39歳	150	160	27	12	14	3	104	0
	100.0%	-	16.9%	7.5%	8.8%	1.9%	65.0%	0.0%
40～49歳	220	225	48	10	17	0	147	3
	100.0%	-	21.3%	4.4%	7.6%	0.0%	65.3%	1.3%
50～59歳	220	235	62	11	12	2	145	3
	100.0%	-	26.4%	4.7%	5.1%	0.9%	61.7%	1.3%
60～64歳	87	88	26	2	4	0	56	0
	100.0%	-	29.5%	2.3%	4.5%	0.0%	63.6%	0.0%
65～69歳	84	85	21	1	5	0	56	2
	100.0%	-	24.7%	1.2%	5.9%	0.0%	65.9%	2.4%
70～74歳	138	150	52	8	5	1	83	1
	100.0%	-	34.7%	5.3%	3.3%	0.7%	55.3%	0.7%
75歳以上	165	178	63	9	6	0	95	5
	100.0%	-	35.4%	5.1%	3.4%	0.0%	53.4%	2.8%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

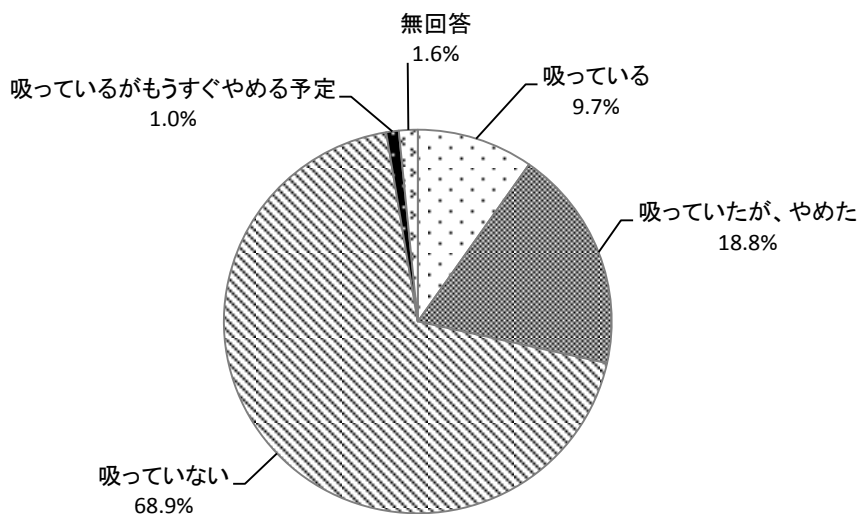
【健康づくりについて】

問19) 20歳以上の方にうかがいます。あなたは、普段たばこ※を吸いますか。(ここでは、他の方の喫煙による煙(受動喫煙)は含みません。)

※「たばこ」とは、たばこ事業法に定める製造たばこ及び製造たばこ代用品のことを指します。(紙巻きたばこ、加熱式たばこ、葉巻を含みます。)

<全体 (n=1,140)>

○約1割が「吸っている」となっていますが、「吸っていたが、やめた」が18.8%、「吸っていない」は68.9%となっており、たばこを吸っていない人の割合は8割を超えています。



n=1,151

<年齢層別>

○どの年齢層でも「吸っていない」の割合が最も高くなっています。特に20歳代では8割を、30歳代及び70歳代以上では7割を上回っています。

○一方、40~64歳では「吸っている」の割合が10%を上回っています。

年齢層別	回答者数 (無回答含む)	吸っている	吸っていたが、やめた	吸っていない	吸っているがもうすぐやめる予定	無回答・無効回答
20~29歳	76	5	5	66	0	0
	100.0%	6.6%	6.6%	86.8%	0.0%	0.0%
30~39歳	150	11	28	110	1	0
	100.0%	7.3%	18.7%	73.3%	0.7%	0.0%
40~49歳	220	26	45	147	1	1
	100.0%	11.8%	20.5%	66.8%	0.5%	0.5%
50~59歳	220	34	39	143	3	1
	100.0%	15.5%	17.7%	65.0%	1.4%	0.5%
60~64歳	87	16	17	53	1	0
	100.0%	18.4%	19.5%	60.9%	1.1%	0.0%
65~69歳	84	6	23	52	0	3
	100.0%	7.1%	27.4%	61.9%	0.0%	3.6%
70~74歳	138	9	23	97	4	5
	100.0%	6.5%	16.7%	70.3%	2.9%	3.6%
75歳以上	165	4	36	117	2	6
	100.0%	2.4%	21.8%	70.9%	1.2%	3.6%

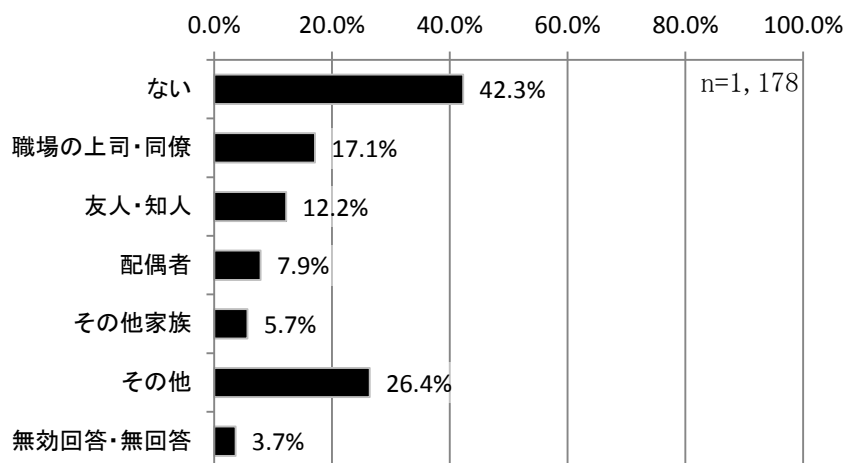
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問 20-1) あなたは、普段、誰かのたばこの煙を吸ってしまうこと（受動喫煙）がありますか。（あてはまるものすべて）

<全体 (n=1,178) >

○「ない」が42.3%と最も多く、次いで「職場の上司・同僚」の17.1%、「友人・知人」の12.2%の順となっています。



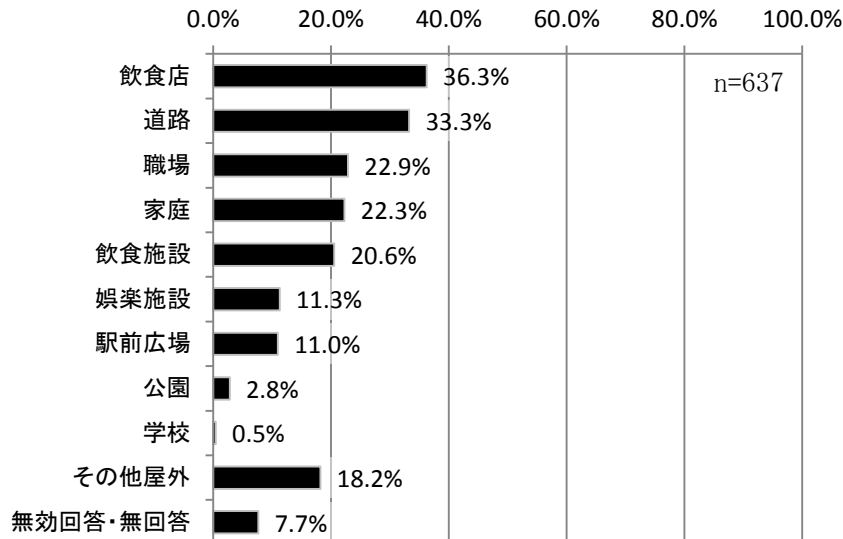
<「その他」を選んだ方の主な回答>

・通行人（歩きたばこ），他人（飲食店や喫煙所など，隣人や近所の人 など

問 20-2) 「2 配偶者」～「6 その他」と回答した方にうかがいます。どこでたばこの煙を吸ってしまいますか。(3つ以内)

<全体 (n=637) >

○「飲食店」が 36.3%と最も多く、次いで「道路」の 33.3%、「職場」の 22.9%の順となっています。



<性別>

○男性では「飲食店」の割合が最も高く、女性では「道路」の割合が最も高くなっています。

○「家庭」については、男性では 12.3%であるのに比べ、女性では 30.2%と 2 倍以上になっています。

○「職場」については、女性では 14.4%であるのに比べ、男性では 33.1%と 2 倍以上になっています。

○「娯楽施設」については、女性では 7.2%であるのに比べ、男性では 16.5%と 2 倍以上になっています。

性別	回答数 (無効回答・無回答 含む)	家庭	職場	学校	飲食店	娯楽施設	飲食施設	駅前広場	道路	公園	その他屋 外	無効回答・ 無回答
男性	555	35	94	1	118	47	68	29	82	7	50	24
	-	12.3%	33.1%	0.4%	41.5%	16.5%	23.9%	10.2%	28.9%	2.5%	17.6%	8.5%
女性	626	105	50	2	110	25	63	41	129	11	65	25
	-	30.2%	14.4%	0.6%	31.6%	7.2%	18.1%	11.8%	37.1%	3.2%	18.7%	7.2%

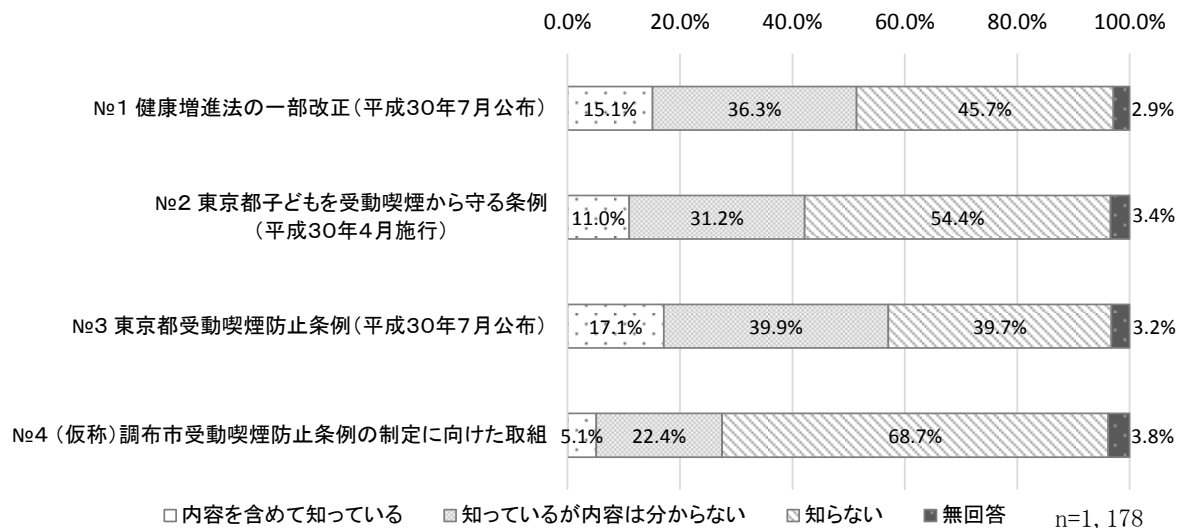
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問 21) あなたは、国や東京都の受動喫煙防止対策が打ち出されたことや、市が受動喫煙防止に関する条例の制定を検討していることを知っていますか。

<全体 (n=1,178) >

○「内容を含めて知っている」「知っているが内容は分からない」の合計が最も多いのは「東京都受動喫煙防止条例」で57.0%となっており、次いで「健康増進法の一部改正」の51.4%、「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」の42.2%の順となっています。



<年齢層別>

○多くの年齢層で「知らない」の割合が最も高い傾向がありますが、高い年齢層では「知らない」の割合が低下する傾向があります。「健康増進法の一部改正」は70歳以上で、「東京都受動喫煙防止条例」は50歳以上で「知っているが内容は分からない」の割合が最も多くなっています。

No.1 健康増進法の一部改正 (平成30年7月公布, 平成31年1月一部施行)

年齢層別	回答者数 (無効回答・無回答含む)	内容を含めて 知っている	知っているが内 容は分からない	知らない	無効回答・ 無回答
16~19歳	27	2	5	17	3
	100.0%	7.4%	18.5%	63.0%	11.1%
20~29歳	76	5	26	45	0
	100.0%	6.6%	34.2%	59.2%	0.0%
30~39歳	150	23	50	77	0
	100.0%	15.3%	33.3%	51.3%	0.0%
40~49歳	220	33	77	109	1
	100.0%	15.0%	35.0%	49.5%	0.5%
50~59歳	220	41	81	97	1
	100.0%	18.6%	36.8%	44.1%	0.5%
60~64歳	87	21	20	44	2
	100.0%	24.1%	23.0%	50.6%	2.3%
65~69歳	84	6	34	38	6
	100.0%	7.1%	40.5%	45.2%	7.1%
70~74歳	138	22	64	45	7
	100.0%	15.9%	46.4%	32.6%	5.1%
75歳以上	165	21	68	64	12
	100.0%	12.7%	41.2%	38.8%	7.3%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

No.2 東京都子どもを受動喫煙から守る条例（平成30年4月施行）

年齢層別	回答者数 (無効回答・無 回答含む)	内容を含めて 知っている	知っているが内 容は分からない	知らない	無効回答・ 無回答
16～19歳	27	0	4	20	3
	100.0%	0.0%	14.8%	74.1%	11.1%
20～29歳	76	7	19	50	0
	100.0%	9.2%	25.0%	65.8%	0.0%
30～39歳	150	17	35	97	1
	100.0%	11.3%	23.3%	64.7%	0.7%
40～49歳	220	25	68	126	1
	100.0%	11.4%	30.9%	57.3%	0.5%
50～59歳	220	25	75	117	3
	100.0%	11.4%	34.1%	53.2%	1.4%
60～64歳	87	14	28	43	2
	100.0%	16.1%	32.2%	49.4%	2.3%
65～69歳	84	7	25	46	6
	100.0%	8.3%	29.8%	54.8%	7.1%
70～74歳	138	15	49	65	9
	100.0%	10.9%	35.5%	47.1%	6.5%
75歳以上	165	15	62	75	13
	100.0%	9.1%	37.6%	45.5%	7.9%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い:



回答数が2番目に多い:



No.3 東京都受動喫煙防止条例（平成30年7月公布, 平成31年1月一部施行）

年齢層別	回答者数 (無効回答・無 回答含む)	内容を含めて 知っている	知っているが内 容は分からない	知らない	無効回答・ 無回答
16～19歳	27	2	5	17	3
	100.0%	7.4%	18.5%	63.0%	11.1%
20～29歳	76	7	32	37	0
	100.0%	9.2%	42.1%	48.7%	0.0%
30～39歳	150	30	53	67	0
	100.0%	20.0%	35.3%	44.7%	0.0%
40～49歳	220	31	84	104	1
	100.0%	14.1%	38.2%	47.3%	0.5%
50～59歳	220	49	86	82	3
	100.0%	22.3%	39.1%	37.3%	1.4%
60～64歳	87	21	32	32	2
	100.0%	24.1%	36.8%	36.8%	2.3%
65～69歳	84	13	36	29	6
	100.0%	15.5%	42.9%	34.5%	7.1%
70～74歳	138	24	64	42	8
	100.0%	17.4%	46.4%	30.4%	5.8%
75歳以上	165	21	75	56	13
	100.0%	12.7%	45.5%	33.9%	7.9%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い:



回答数が2番目に多い:



No.4 (仮称) 調布市受動喫煙防止条例の制定に向けた取組

年齢層別	回答者数 (無効回答・無回答含む)	内容を含めて 知っている	知っているが内 容は分からない	知らない	無効回答・ 無回答
16～19歳	27	0	1	23	3
	100.0%	0.0%	3.7%	85.2%	11.1%
20～29歳	76	2	13	61	0
	100.0%	2.6%	17.1%	80.3%	0.0%
30～39歳	150	9	23	117	1
	100.0%	6.0%	15.3%	78.0%	0.7%
40～49歳	220	16	48	154	2
	100.0%	7.3%	21.8%	70.0%	0.9%
50～59歳	220	16	46	155	3
	100.0%	7.3%	20.9%	70.5%	1.4%
60～64歳	87	3	19	63	2
	100.0%	3.4%	21.8%	72.4%	2.3%
65～69歳	84	2	21	55	6
	100.0%	2.4%	25.0%	65.5%	7.1%
70～74歳	138	5	47	77	9
	100.0%	3.6%	34.1%	55.8%	6.5%
75歳以上	165	6	44	98	17
	100.0%	3.6%	26.7%	59.4%	10.3%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 154 回答数が2番目に多い: 117

(仮称) 調布市受動喫煙防止条例案の概要

● 基本的な考え方

健康増進法や東京都受動喫煙防止条例が定める事項の実効性を高め、受動喫煙を生じさせることのない環境を整備し、自ら身を守ることが難しい子どもをはじめとした多くの市民等の健康を守る観点から、市が管理する施設や、屋外では駅周辺や学校等の周辺などの一定のエリアでの喫煙を禁止し、受動喫煙の防止を推進していきます。

● 具体的な取組

・ 市の施設等における喫煙の禁止

(対象施設)

市庁舎、神代出張所、教育会館、小・中学校、保育園、児童館、学童クラブ、高齢者施設、文化会館たづくり、グリーンホール、博物館、公民館、図書館、体育館、屋外運動施設、公園・広場

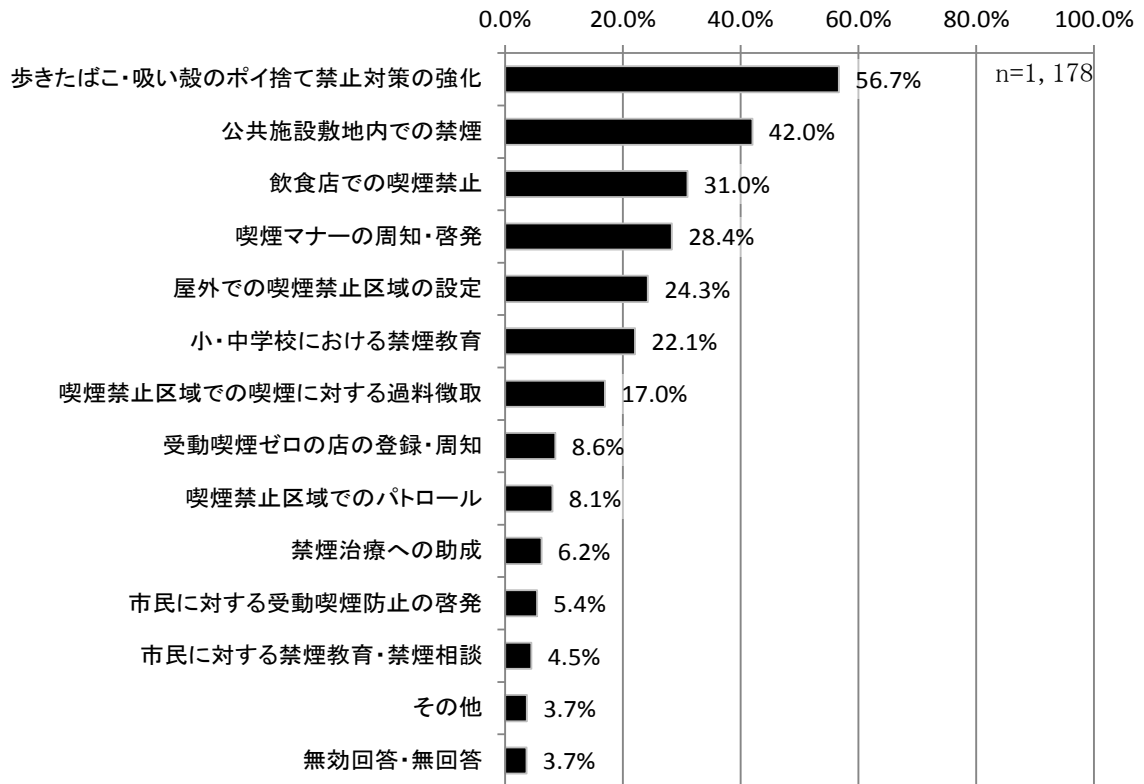
※上記のうち公園・広場を除く施設等は、これまでも調布市施設の受動喫煙の防止に関する基本方針において原則禁止としています。

- ・ 市内の鉄道駅を中心とした半径200m程度の路上や駅前広場を路上等喫煙禁止区域に指定
 - ・ 市内の公私立の学校・幼稚園・保育園・児童館等の敷地に隣接する路上における喫煙の禁止及び通学路における子どもの受動喫煙防止への配慮
 - ・ 小・中学校におけるたばこに関する教育の推進、受動喫煙防止等に関する啓発
 - ・ 過料の適用（施行時期は別途検討し、当分の間は受動喫煙防止の理解と協力を促進）
- ※上記の施設・区域以外でも、市民等の責務として、受動喫煙防止に努めるものとしています

問22) あなたは、受動喫煙防止対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思えますか。(3つ以内)

<全体 (n=1,178) >

○「歩きタバコ・吸い殻のポイ捨て禁止対策の強化」が56.7%と最も多く、次いで「公共施設敷地内での禁煙」の42.0%、「飲食店での喫煙禁止」の31.0%の順となっています。



<年齢層別>

○どの年齢層でも「歩きタバコ・吸い殻のポイ捨て禁止対策の強化」の割合が最も高い傾向が見られます。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	公共施設敷地内での禁煙	屋外での喫煙禁止区域の設定	喫煙禁止区域での喫煙に対する過料徴取	喫煙禁止区域でのパトロール	飲食店での喫煙禁止	受動喫煙ゼロの店の登録・周知	小・中学校における禁煙教育	市民に対する受動喫煙防止の啓発	市民に対する禁煙教育・禁煙相談	禁煙治療への助成	喫煙マナーの周知・啓発	歩きタバコ・吸い殻のポイ捨て禁止対策の強化	その他	無効回答・無効回答
16~19歳	64	9	8	2	1	9	0	4	2	1	3	5	17	0	3
	-	33.3%	29.6%	7.4%	3.7%	33.3%	0.0%	14.8%	7.4%	3.7%	11.1%	18.5%	63.0%	0.0%	11.1%
20~29歳	189	28	24	14	4	17	11	14	1	2	3	20	47	1	3
	-	36.8%	31.6%	18.4%	5.3%	22.4%	14.5%	18.4%	1.3%	2.6%	3.9%	26.3%	61.8%	1.3%	3.9%
30~39歳	400	53	41	41	20	45	14	28	9	6	11	34	89	6	3
	-	35.3%	27.3%	27.3%	13.3%	30.0%	9.3%	18.7%	6.0%	4.0%	7.3%	22.7%	59.3%	4.0%	2.0%
40~49歳	581	83	58	53	32	52	14	41	10	7	19	59	132	15	6
	-	37.7%	26.4%	24.1%	14.5%	23.6%	6.4%	18.6%	4.5%	3.2%	8.6%	26.8%	60.0%	6.8%	2.7%
50~59歳	571	92	57	33	19	67	19	43	10	12	12	73	118	12	4
	-	41.8%	25.9%	15.0%	8.6%	30.5%	8.6%	19.5%	4.5%	5.5%	5.5%	33.2%	53.6%	5.5%	1.8%
60~64歳	232	39	26	9	0	34	7	20	8	4	7	29	46	2	1
	-	44.8%	29.9%	10.3%	0.0%	39.1%	8.0%	23.0%	9.2%	4.6%	8.0%	33.3%	52.9%	2.3%	1.1%
65~69歳	221	40	13	12	7	29	9	19	3	5	4	24	47	3	6
	-	47.6%	15.5%	14.3%	8.3%	34.5%	10.7%	22.6%	3.6%	6.0%	4.8%	28.6%	56.0%	3.6%	7.1%
70~74歳	370	72	28	16	7	50	10	41	8	10	9	37	75	1	6
	-	52.2%	20.3%	11.6%	5.1%	36.2%	7.2%	29.7%	5.8%	7.2%	6.5%	26.8%	54.3%	0.7%	4.3%
75歳以上	423	73	27	19	4	58	16	48	13	6	4	50	91	4	10
	-	44.2%	16.4%	11.5%	2.4%	35.2%	9.7%	29.1%	7.9%	3.6%	2.4%	30.3%	55.2%	2.4%	6.1%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

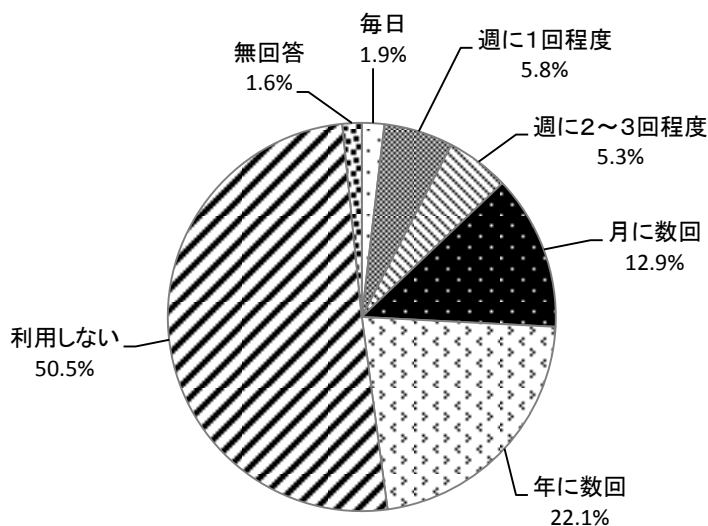
回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

【公園・公衆トイレについて】

問 23) あなたのお住まいの近くの公園について、どの程度利用していますか。

<全体 (n=1,178) >

○「利用しない」が50.5%と最も多く、次いで「年に数回」の22.1%、「月に数回」の12.9%の順となっています。



n=1,178

<地域別>

○どの地域でも「利用しない」の割合が最も高い傾向が見られます。

○一方で、北部地域では、「毎日」～「年に数回」の合計が6割を超えており、他の地域に比べ公園の利用頻度が高くなっています。

地域別	回答者数 (無回答含む)	毎日	週に1回程度	週に2~3回程度	月に数回	年に数回	利用しない	無回答・無効回答
東部地域	283	7	22	15	28	59	146	6
	100.0%	2.5%	7.8%	5.3%	9.9%	20.8%	51.6%	2.1%
北部地域	254	7	15	21	52	71	87	1
	100.0%	2.8%	5.9%	8.3%	20.5%	28.0%	34.3%	0.4%
南部地域 (中心市街地)	194	2	5	8	26	46	106	1
	100.0%	1.0%	2.6%	4.1%	13.4%	23.7%	54.6%	0.5%
南部地域 (中心市街地以外)	226	1	15	6	27	38	135	4
	100.0%	0.4%	6.6%	2.7%	11.9%	16.8%	59.7%	1.8%
西部地域	204	4	9	12	18	44	113	4
	100.0%	2.0%	4.4%	5.9%	8.8%	21.6%	55.4%	2.0%

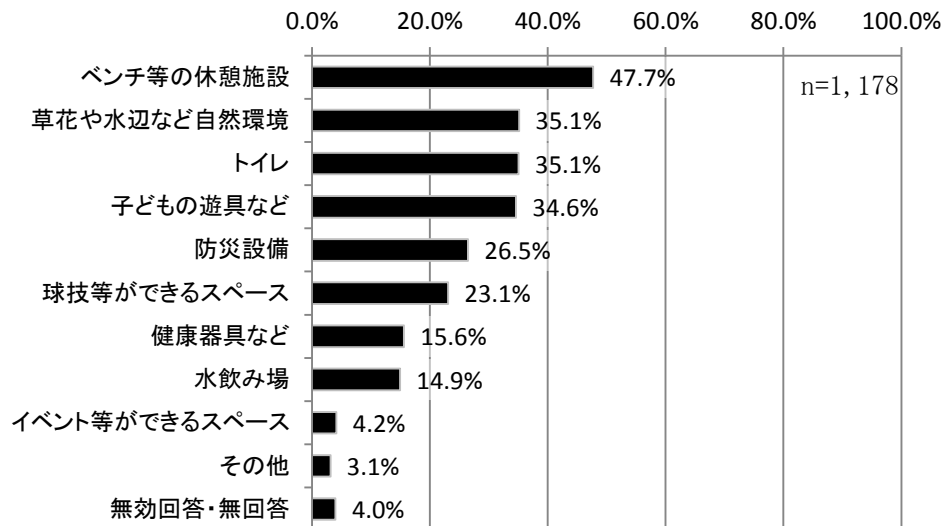
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問24) あなたのお住まいの近くの公園について、どのような設備があると良いと思いますか。(3つ以内)

<全体 (n=1,178) >

○「ベンチ等の休憩施設」が47.7%と最も多く、次いで「草花や水辺など自然環境」「トイレ」がそれぞれ35.1%の順となっています。



<年齢層別>

○20歳以上で「ベンチ等の休憩施設」の割合が高くなっています。特に65～74歳では半数を超えています。

○「草花や水辺など自然環境」及び「トイレ」の割合は、50歳以上で高い傾向にあります。

○10歳代～40歳代では「子どもの遊具など」の割合が高い傾向にあります。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	子どもの遊具など	健康器具など	球技等ができるスペース	ベンチ等の休憩施設	草花や水辺など自然環境	イベント等ができるスペース	防災設備	トイレ	水飲み場	その他	無回答・無効回答
16～19歳	62	10	2	13	5	6	3	9	6	7	0	1
	-	37.0%	7.4%	48.1%	18.5%	22.2%	11.1%	33.3%	22.2%	25.9%	0.0%	3.7%
20～29歳	193	38	10	26	43	19	5	21	17	11	2	1
	-	50.0%	13.2%	34.2%	56.6%	25.0%	6.6%	27.6%	22.4%	14.5%	2.6%	1.3%
30～39歳	383	82	18	54	72	51	4	33	49	15	4	1
	-	54.7%	12.0%	36.0%	48.0%	34.0%	2.7%	22.0%	32.7%	10.0%	2.7%	0.7%
40～49歳	538	91	45	83	92	62	12	57	71	11	8	6
	-	41.4%	20.5%	37.7%	41.8%	28.2%	5.5%	25.9%	32.3%	5.0%	3.6%	2.7%
50～59歳	526	47	40	42	100	95	8	80	72	30	6	6
	-	21.4%	18.2%	19.1%	45.5%	43.2%	3.6%	36.4%	32.7%	13.6%	2.7%	2.7%
60～64歳	206	23	18	9	39	30	7	21	33	18	5	3
	-	26.4%	20.7%	10.3%	44.8%	34.5%	8.0%	24.1%	37.9%	20.7%	5.7%	3.4%
65～69歳	208	24	13	9	50	35	2	20	35	13	1	6
	-	28.6%	15.5%	10.7%	59.5%	41.7%	2.4%	23.8%	41.7%	15.5%	1.2%	7.1%
70～74歳	333	45	13	12	81	60	3	31	48	27	3	10
	-	32.6%	9.4%	8.7%	58.7%	43.5%	2.2%	22.5%	34.8%	19.6%	2.2%	7.2%
75歳以上	399	45	24	20	76	54	4	39	75	42	8	12
	-	27.3%	14.5%	12.1%	46.1%	32.7%	2.4%	23.6%	45.5%	25.5%	4.8%	7.3%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

<地域別>

○どの地域でも「ベンチ等の休憩施設」の割合が最も高くなっています。

○次いで、東部地域、南部地域（中心市街地）では「草花や水辺など自然環境」の割合が高くなっています。

一方、北部地域、南部地域（中心市街地以外）では「子どもの遊具など」の割合が高くなっています。

地域別	回答数 (無効回答・無回答含む)	子どもの遊具など	健康器具など	球技等ができるスペース	ベンチ等の休憩施設	草花や水辺など自然環境	イベント等ができるスペース	防災設備	トイレ	水飲み場	その他	無回答・無効回答
東部地域	679	91	48	62	132	99	17	77	91	40	10	12
	-	32.2%	17.0%	21.9%	46.6%	35.0%	6.0%	27.2%	32.2%	14.1%	3.5%	4.2%
北部地域	613	94	40	67	120	81	8	63	85	33	10	12
	-	37.0%	15.7%	26.4%	47.2%	31.9%	3.1%	24.8%	33.5%	13.0%	3.9%	4.7%
南部地域 (中心市街地)	491	59	34	42	94	81	6	60	76	28	6	5
	-	30.4%	17.5%	21.6%	48.5%	41.8%	3.1%	30.9%	39.2%	14.4%	3.1%	2.6%
南部地域 (中心市街地以外)	540	81	31	48	111	76	11	54	77	34	8	9
	-	35.8%	13.7%	21.2%	49.1%	33.6%	4.9%	23.9%	34.1%	15.0%	3.5%	4.0%
西部地域	516	77	28	51	98	73	6	57	79	38	3	6
	-	37.7%	13.7%	25.0%	48.0%	35.8%	2.9%	27.9%	38.7%	18.6%	1.5%	2.9%

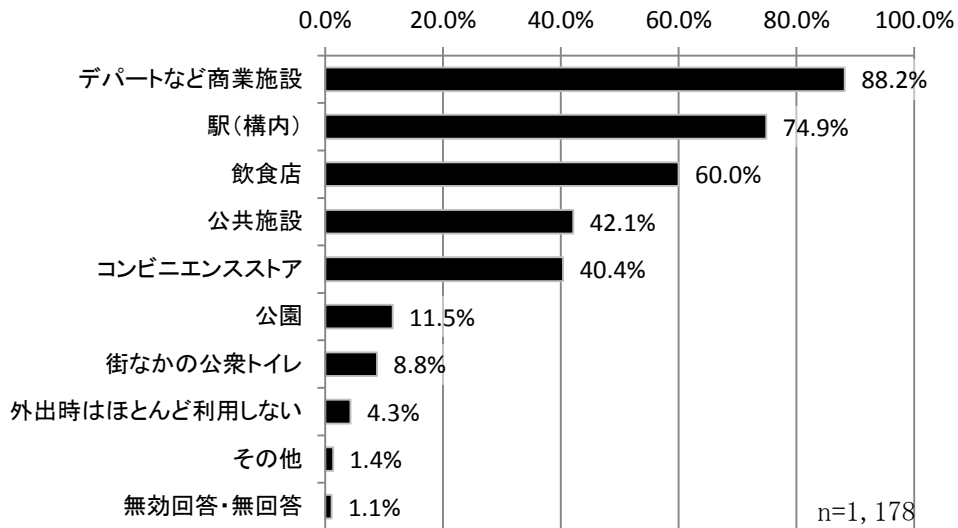
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い:  回答数が2番目に多い: 

問 25) あなたが普段、外出時に利用するトイレはどこですか。(5つ以内)

<全体 (n=1,178) >

○「デパートなど商業施設」が88.2%と最も多く、次いで「駅(構内)」の74.9%、「飲食店」の60.0%の順となっています。



<性別>

○男女ともに「デパートなど商業施設」の割合が最も高く、次いで「駅(構内)」が続いています。

○「デパートなど商業施設」、「飲食店」、「公共施設」は女性が男性と比べて利用割合が高くなっています。

○一方、「街なかの公衆トイレ」、「公園」、「コンビニエンスストア」は男性の利用が女性と比べて特に高くなっています。

性別	回答数 (無効回答・無回答含む)	駅(構内)	街なかの 公衆トイレ	公園	コンビニエ ンスストア	デパートな ど商業施設	飲食店	公共施設	外出時は ほとんど利 用しない	その他	無回答・ 無効回答
男性	1,619	377	79	101	235	387	235	178	16	7	4
	-	81.1%	17.0%	21.7%	50.5%	83.2%	50.5%	38.3%	3.4%	1.5%	0.9%
女性	2,251	494	23	33	233	642	465	312	34	8	7
	-	70.9%	3.3%	4.7%	33.4%	92.1%	66.7%	44.8%	4.9%	1.1%	1.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)
 回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

<年齢層別>

○10歳代を除き、どの年齢層でも「デパートなど商業施設」の割合が最も高く、次いで「駅（構内）」が続いています。

○「街なかの公衆トイレ」、「公園」、「公共施設」は年齢層が高いほど利用割合が高くなる傾向にあります。

年齢層別	回答数 (無効回答・無回答含む)	駅(構内)	街なかの 公衆トイレ	公園	コンビニ ンスストア	デパートな ど商業施設	飲食店	公共施設	外出時は ほとんど利 用しない	その他	無回答・ 無効回答
16～19歳	80	20	1	0	11	19	16	8	3	1	1
	-	74.1%	3.7%	0.0%	40.7%	70.4%	59.3%	29.6%	11.1%	3.7%	3.7%
20～29歳	237	61	3	3	33	68	40	25	2	2	0
	-	80.3%	3.9%	3.9%	43.4%	89.5%	52.6%	32.9%	2.6%	2.6%	0.0%
30～39歳	483	99	6	10	79	143	90	47	8	1	0
	-	66.0%	4.0%	6.7%	52.7%	95.3%	60.0%	31.3%	5.3%	0.7%	0.0%
40～49歳	768	165	10	24	113	205	143	97	10	0	1
	-	75.0%	4.5%	10.9%	51.4%	93.2%	65.0%	44.1%	4.5%	0.0%	0.5%
50～59歳	765	178	17	29	88	205	140	94	10	2	2
	-	80.9%	7.7%	13.2%	40.0%	93.2%	63.6%	42.7%	4.5%	0.9%	0.9%
60～64歳	295	69	11	11	38	76	55	31	1	2	1
	-	79.3%	12.6%	12.6%	43.7%	87.4%	63.2%	35.6%	1.1%	2.3%	1.1%
65～69歳	279	58	10	11	29	70	55	42	2	0	2
	-	69.0%	11.9%	13.1%	34.5%	83.3%	65.5%	50.0%	2.4%	0.0%	2.4%
70～74歳	459	101	19	16	41	116	79	74	7	4	2
	-	73.2%	13.8%	11.6%	29.7%	84.1%	57.2%	53.6%	5.1%	2.9%	1.4%
75歳以上	517	124	25	31	39	128	83	73	8	3	3
	-	75.2%	15.2%	18.8%	23.6%	77.6%	50.3%	44.2%	4.8%	1.8%	1.8%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い:  回答数が2番目に多い: 

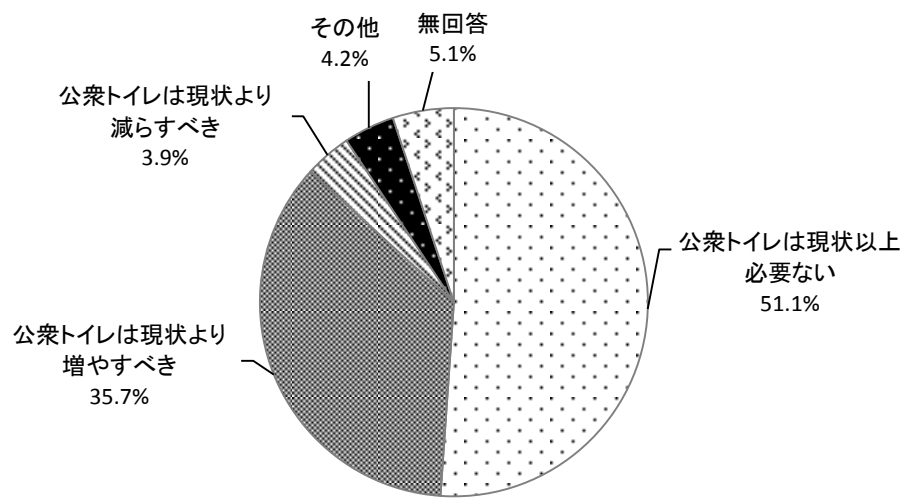
問26) あなたは、公衆トイレが必要だと思いますか。また、どんな場所(施設)に必要だと思いますか。

<全体 (n=1,178) >

○「公衆トイレは現状以上必要ない」が51.1%と最も多く、次いで「公衆トイレは現状より増やすべき」の35.7%、「公衆トイレは現状より減らすべき」の3.9%の順となっています。

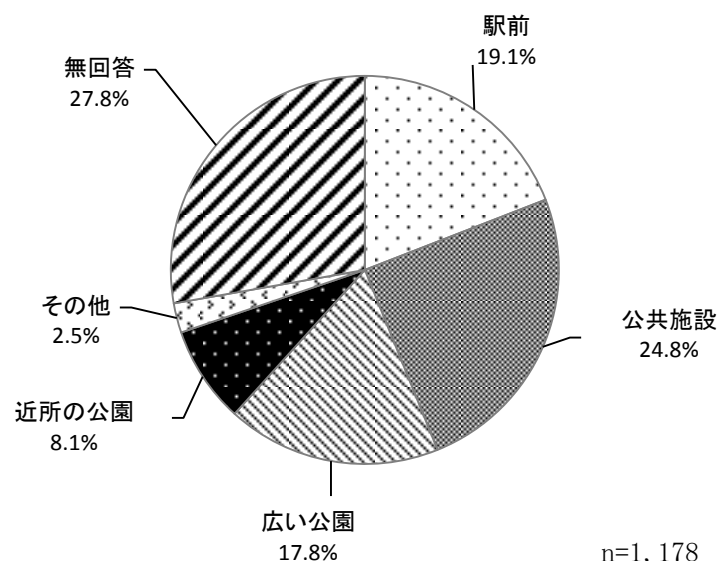
○公衆トイレが必要だと思う場所は、「公共施設」が24.8%と最も多く、次いで「駅前」の19.1%、「広い公園」の17.8%の順となっています。

No.1 公衆トイレの必要性



n=1,178

No.2 公衆トイレが必要だと思う場所



n=1,178

<年齢層別>

○70歳以上では「公衆トイレは現状より増やすべき」の割合が最も高くなっていますが、それ以外の16～69歳では「公衆トイレは現状以上必要ない」の割合が最も高くなっています。

○公衆トイレが必要だと思う場所は、年齢層によってばらつきがあり、10歳代や70歳以上では「駅前」の割合が最も高くなっていますが、それ以外の年齢層では「公共施設」や「広い公園」の割合が最も高くなっています。

No.1 公衆トイレの必要性

年齢層別	回答者数 (無回答含む)	公衆トイレ は現状以上 必要ない	公衆トイレ は現状より 増やすべき	公衆トイレ は現状より 減らすべき	その他	無回答・ 無効回答
16～19歳	27	17	6	3	0	1
	100.0%	63.0%	22.2%	11.1%	0.0%	3.7%
20～29歳	76	45	25	5	1	0
	100.0%	59.2%	32.9%	6.6%	1.3%	0.0%
30～39歳	150	88	42	11	6	3
	100.0%	58.7%	28.0%	7.3%	4.0%	2.0%
40～49歳	220	124	71	12	11	2
	100.0%	56.4%	32.3%	5.5%	5.0%	0.9%
50～59歳	220	125	73	7	10	5
	100.0%	56.8%	33.2%	3.2%	4.5%	2.3%
60～64歳	87	40	33	3	5	6
	100.0%	46.0%	37.9%	3.4%	5.7%	6.9%
65～69歳	84	38	35	2	2	7
	100.0%	45.2%	41.7%	2.4%	2.4%	8.3%
70～74歳	138	55	62	3	9	9
	100.0%	39.9%	44.9%	2.2%	6.5%	6.5%
75歳以上	165	69	73	0	5	18
	100.0%	41.8%	44.2%	0.0%	3.0%	10.9%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

No.2 公衆トイレが必要だと思う場所

年齢層別	回答者数 (無回答含む)	駅前	公共施設	広い公園	近所の公園	その他	無回答・ 無効回答
16～19歳	27	8	4	4	1	0	10
	100.0%	29.6%	14.8%	14.8%	3.7%	0.0%	37.0%
20～29歳	76	15	24	9	4	1	23
	100.0%	19.7%	31.6%	11.8%	5.3%	1.3%	30.3%
30～39歳	150	17	31	35	15	3	49
	100.0%	11.3%	20.7%	23.3%	10.0%	2.0%	32.7%
40～49歳	220	42	57	38	21	7	55
	100.0%	19.1%	25.9%	17.3%	9.5%	3.2%	25.0%
50～59歳	220	40	67	42	12	3	56
	100.0%	18.2%	30.5%	19.1%	5.5%	1.4%	25.5%
60～64歳	87	13	19	21	7	2	25
	100.0%	14.9%	21.8%	24.1%	8.0%	2.3%	28.7%
65～69歳	84	15	20	16	8	4	21
	100.0%	17.9%	23.8%	19.0%	9.5%	4.8%	25.0%
70～74歳	138	33	33	23	12	6	31
	100.0%	23.9%	23.9%	16.7%	8.7%	4.3%	22.5%
75歳以上	165	42	37	21	15	3	47
	100.0%	25.5%	22.4%	12.7%	9.1%	1.8%	28.5%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

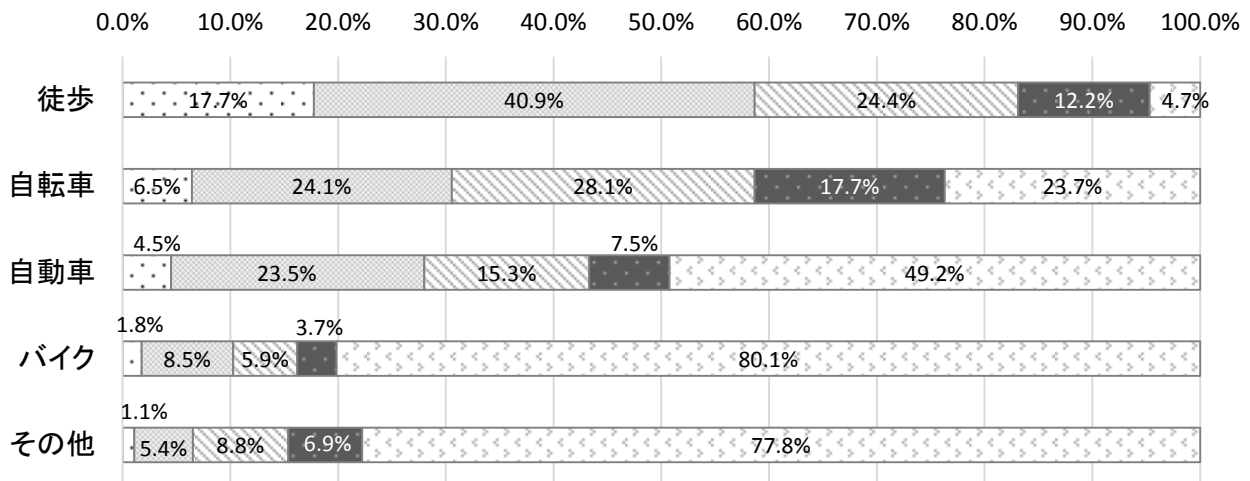
【道路・交通について】

問 27) あなたが普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。実際に利用している交通手段について、次の中からそれぞれ1つずつ選んでください。

※車いすやベビーカーによる場合は「その他」にご記入ください。

<全体 (n=1,178) >

○「歩きやすい、走りやすい、利用しやすい」「ある程度歩きやすい、ある程度走りやすい、ある程度利用しやすい」の合計が最も多いのは「徒歩」で58.6%となっており、次いで「自転車」の30.6%、「自動車」の28.0%の順となっています。

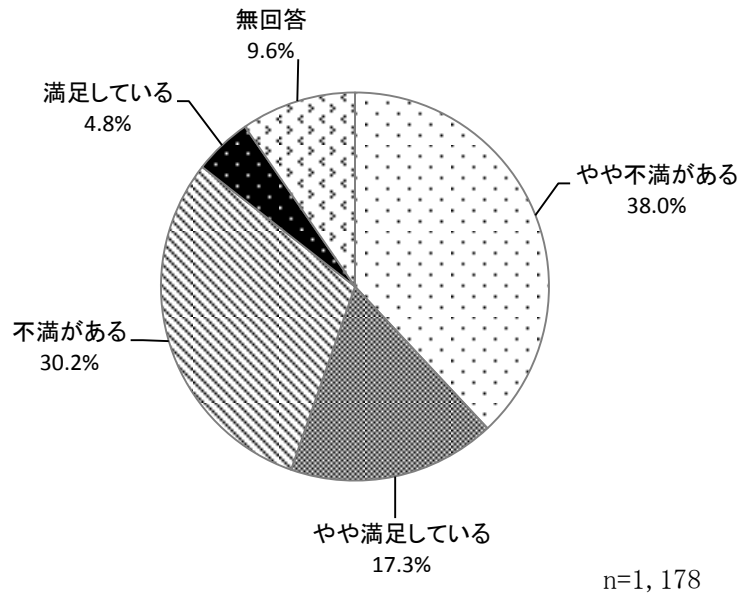


- 歩きやすい、走りやすい、利用しやすい
- ある程度歩きやすい、ある程度走りやすい、ある程度利用しやすい
- やや歩きにくい、やや走りにくい、やや利用しにくい
- 歩きにくい、走りにくい、利用しにくい
- 無効回答・無回答

問 28-1) あなたは、市内の自転車利用環境について満足していますか。

<全体 (n=1,178) >

○「満足している」が4.8%、「やや満足している」が17.3%となっており、合計で2割程度となっています。



<地域別>

○どの地域もほぼ同様の傾向となっていますが、「不満がある」は東部地域で最も高くなっています。

地域別	回答者数 (無効回答・無回答 含む)	満足している	やや満足している	やや不満がある	不満がある	無効回答・ 無回答
東部地域	283	7	46	94	102	34
	100.0%	2.5%	16.3%	33.2%	36.0%	12.0%
北部地域	254	10	54	93	72	25
	100.0%	3.9%	21.3%	36.6%	28.3%	9.8%
南部地域 (中心市街地)	194	15	32	77	56	14
	100.0%	7.7%	16.5%	39.7%	28.9%	7.2%
南部地域 (中心市街地以外)	226	12	34	89	70	21
	100.0%	5.3%	15.0%	39.4%	31.0%	9.3%
西部地域	204	10	37	90	52	15
	100.0%	4.9%	18.1%	44.1%	25.5%	7.4%

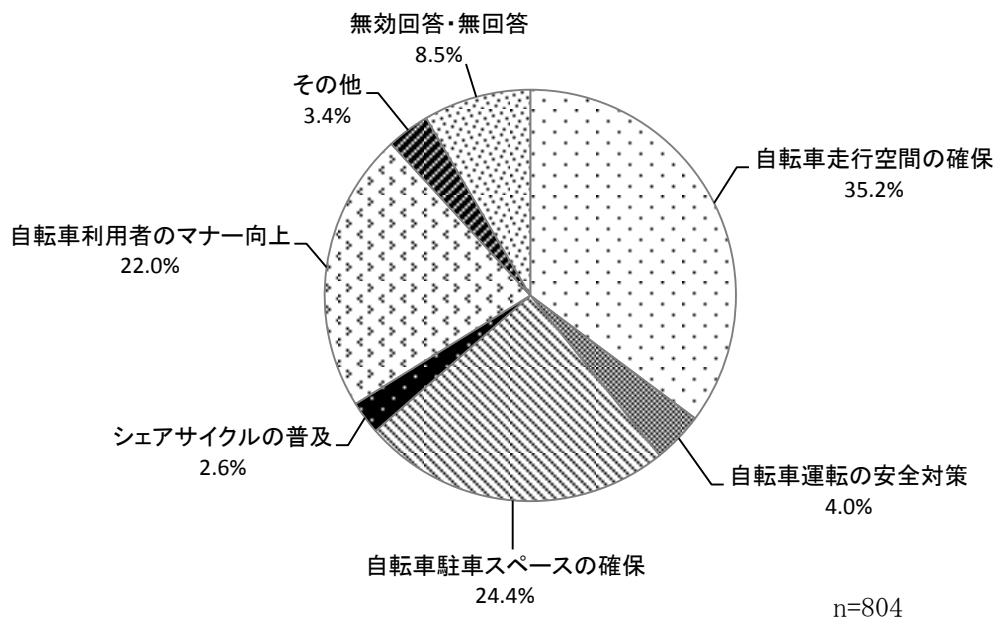
(上段:実数(人),下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問 28-2) 「1 やや不満がある」, 「3 不満がある」と回答した方にうかがいます。今後どのような取組を進めていけば、自転車利用環境が改善すると思いますか。

<全体 (n=804) >

○「自転車走行空間の確保」が35.2%と最も多く、次いで「自転車駐車スペースの確保」の24.4%, 「自転車利用者のマナー向上」の22.0%の順となっています。



<年齢層別>

○16～59歳では「自転車走行空間の確保」の割合が最も高く、10歳代及び60歳代では「自転車駐車スペースの確保」、70歳以上では「自転車利用者のマナー向上」の割合が最も高くなっています。

年齢層別	回答者数 (無回答含む)	自転車走行空間の確保	自転車運転の安全対策	自転車駐車スペースの確保	シェアサイクルの普及	自転車利用者のマナー向上	その他	無回答
16～19歳	12	5	0	5	0	1	0	1
	100.0%	41.7%	0.0%	41.7%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%
20～29歳	54	17	0	10	3	17	0	7
	100.0%	31.5%	0.0%	18.5%	5.6%	31.5%	0.0%	13.0%
30～39歳	108	57	3	18	4	15	2	9
	100.0%	52.8%	2.8%	16.7%	3.7%	13.9%	1.9%	8.3%
40～49歳	169	68	7	42	6	25	7	14
	100.0%	40.2%	4.1%	24.9%	3.6%	14.8%	4.1%	8.3%
50～59歳	171	68	4	44	2	36	6	11
	100.0%	39.8%	2.3%	25.7%	1.2%	21.1%	3.5%	6.4%
60～64歳	68	19	3	22	1	12	3	8
	100.0%	27.9%	4.4%	32.4%	1.5%	17.6%	4.4%	11.8%
65～69歳	55	12	6	16	0	15	3	3
	100.0%	21.8%	10.9%	29.1%	0.0%	27.3%	5.5%	5.5%
70～74歳	81	22	3	19	1	27	2	7
	100.0%	27.2%	3.7%	23.5%	1.2%	33.3%	2.5%	8.6%
75歳以上	85	15	6	20	3	29	4	8
	100.0%	17.6%	7.1%	23.5%	3.5%	34.1%	4.7%	9.4%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

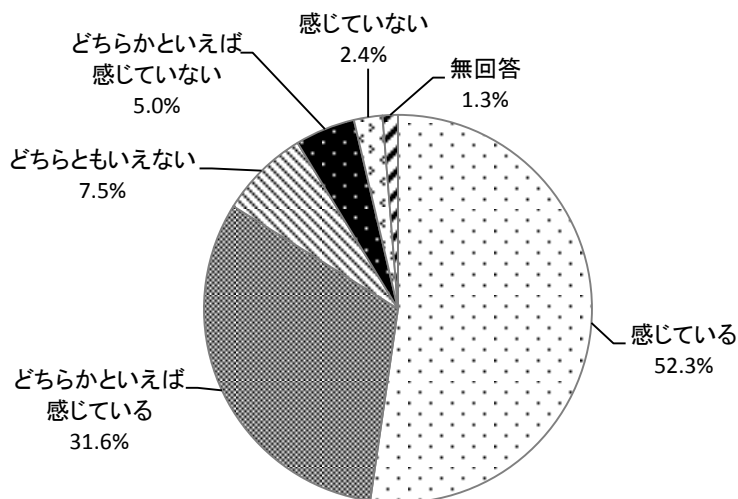
回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

4 「あなたご自身のこと」について

問 38) あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。

<全体 (n=1,178) >

○「感じている」が52.3%、「どちらかといえば感じている」が31.6%となっており、合計で全体の8割以上の市民が調布のまちに親しみや愛着を感じていることがうかがえます。



n=1,178

<年齢層別>

○どの年齢層でも「感じている」の割合が最も高く、次いで「どちらかといえば感じている」が高くなっています。

年齢層別	回答者数 (無回答含む)	感じている	どちらかとい えば感じ ている	どちらとも いえない	どちらかとい えば感じ ていない	感じていな い	無回答・ 無効回答
16～19歳	27	13	8	4	1	1	0
	100.0%	48.1%	29.6%	14.8%	3.7%	3.7%	0.0%
20～29歳	76	37	22	10	3	4	0
	100.0%	48.7%	28.9%	13.2%	3.9%	5.3%	0.0%
30～39歳	150	73	58	8	10	1	0
	100.0%	48.7%	38.7%	5.3%	6.7%	0.7%	0.0%
40～49歳	220	111	76	14	12	7	0
	100.0%	50.5%	34.5%	6.4%	5.5%	3.2%	0.0%
50～59歳	220	131	61	17	8	1	2
	100.0%	59.5%	27.7%	7.7%	3.6%	0.5%	0.9%
60～64歳	87	43	28	6	5	3	2
	100.0%	49.4%	32.2%	6.9%	5.7%	3.4%	2.3%
65～69歳	84	47	26	5	2	1	3
	100.0%	56.0%	31.0%	6.0%	2.4%	1.2%	3.6%
70～74歳	138	70	45	7	11	4	1
	100.0%	50.7%	32.6%	5.1%	8.0%	2.9%	0.7%
75歳以上	165	85	45	16	7	6	6
	100.0%	51.5%	27.3%	9.7%	4.2%	3.6%	3.6%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

<地域別>

○どの地域でも「感じている」の割合が最も高く、次いで「どちらかといえば感じている」が高くなっており、同様の傾向が見られます。

○一方、西部地域では「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計が77.0%と、他の地域と比べてやや低くなっています。

地域別	回答者数 (無回答含む)	感じている	どちらかとい えれば感じ ている	どちらとも いえない	どちらかとい えれば感じ ていない	感じていな い	無回答・ 無効回答
東部地域	283	144	87	21	21	9	1
	100.0%	50.9%	30.7%	7.4%	7.4%	3.2%	0.4%
北部地域	254	146	79	12	7	8	2
	100.0%	57.5%	31.1%	4.7%	2.8%	3.1%	0.8%
南部地域 (中心市街地)	194	107	59	13	10	3	2
	100.0%	55.2%	30.4%	6.7%	5.2%	1.5%	1.0%
南部地域 (中心市街地以外)	226	119	81	16	5	3	2
	100.0%	52.7%	35.8%	7.1%	2.2%	1.3%	0.9%
西部地域	204	94	63	26	14	4	3
	100.0%	46.1%	30.9%	12.7%	6.9%	2.0%	1.5%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い:  回答数が2番目に多い: 

<居住年数別>

○5年以上お住まいの方の半数以上が「感じている」と回答しており、「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は8割以上となっています。

地域別	回答者数 (無効回答・ 無回答含む)	感じている	どちらかとい えれば感じ ている	どちらともい えない	どちらかとい えれば感じ ていな い	感じていな い	無効回答・ 無回答
3年未満	137	50	51	14	16	6	0
	100.0%	36.5%	37.2%	10.2%	11.7%	4.4%	0.0%
3~5年未満	66	23	26	13	2	2	0
	100.0%	34.8%	39.4%	19.7%	3.0%	3.0%	0.0%
5~10年未満	106	53	35	6	10	1	1
	100.0%	50.0%	33.0%	5.7%	9.4%	0.9%	0.9%
10~20年未満	261	147	84	17	7	4	2
	100.0%	56.3%	32.2%	6.5%	2.7%	1.5%	0.8%
20~30年未満	197	112	61	13	7	4	0
	100.0%	56.9%	31.0%	6.6%	3.6%	2.0%	0.0%
30年以上	406	231	115	25	17	11	7
	100.0%	56.9%	28.3%	6.2%	4.2%	2.7%	1.7%

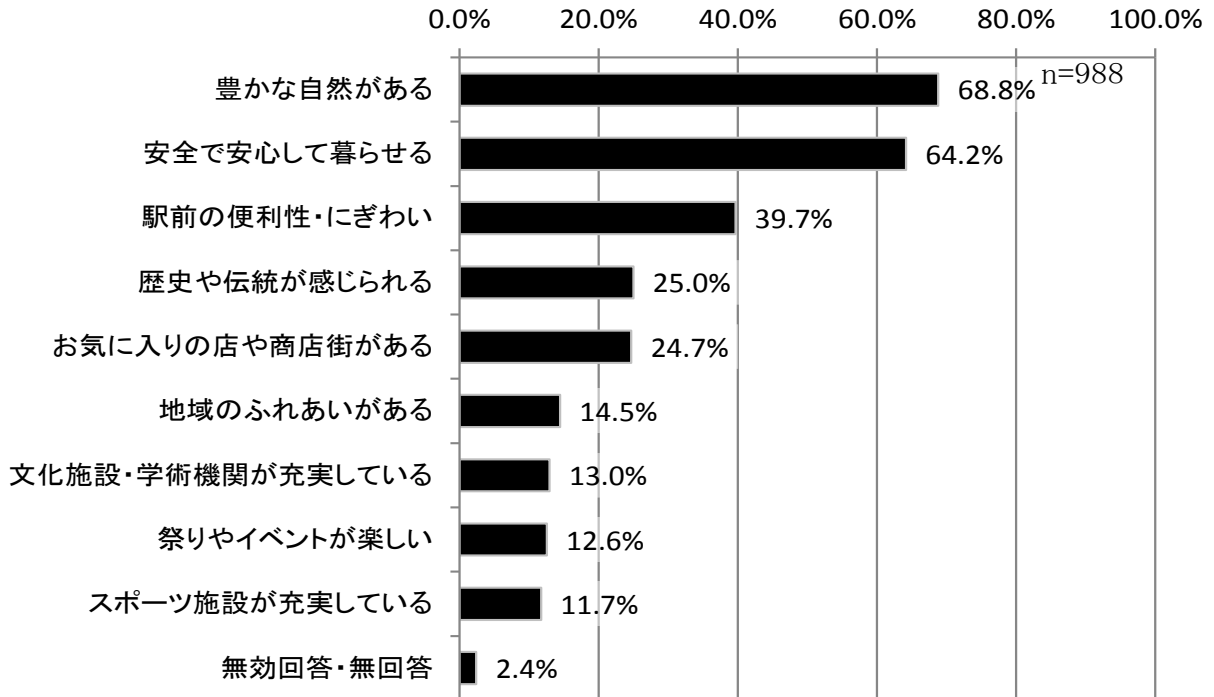
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い:  回答数が2番目に多い: 

問 39) 問 38 で「1 感じている」「2 どちらかといえば感じている」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたが、調布のまちに親しみや愛着を感じている理由について、あてはまるものすべてを選んでください。

<全体 (n=988) >

○「豊かな自然がある」が 68.8%と最も多く、次いで「安全で安心して暮らせる」の 64.2%、「駅前の利便性・にぎわい」の 39.7%の順となっています。



<年齢層別>

○50～59 歳及び 65 歳以上では「豊かな自然がある」の割合が最も高く、16～49 歳及び 60～64 歳では「安全で安心して暮らせる」の割合が最も高くなっています。16～29 歳では、「駅前の利便性・にぎわい」の割合が高くなっています。

年齢層別	回答数 (無回答含む)	安全で安心して暮らせる	地域のふれあいがある	祭りやイベントが楽しい	歴史や伝統が感じられる	豊かな自然がある	お気に入りの店や商店街がある	スポーツ施設が充実している	文化施設・学術機関が充実している	駅前の利便性・にぎわい	無回答
16～19歳	47	11	1	2	3	7	5	3	3	11	1
	-	52.4%	4.8%	9.5%	14.3%	33.3%	23.8%	14.3%	14.3%	52.4%	4.8%
20～29歳	149	35	8	5	12	28	17	4	7	32	1
	-	59.3%	13.6%	8.5%	20.3%	47.5%	28.8%	6.8%	11.9%	54.2%	1.7%
30～39歳	361	87	18	21	28	83	40	14	16	50	4
	-	66.4%	13.7%	16.0%	21.4%	63.4%	30.5%	10.7%	12.2%	38.2%	3.1%
40～49歳	492	118	23	24	46	116	39	21	22	73	10
	-	63.1%	12.3%	12.8%	24.6%	62.0%	20.9%	11.2%	11.8%	39.0%	5.3%
50～59歳	549	121	30	34	59	134	42	24	23	77	5
	-	63.0%	15.6%	17.7%	30.7%	69.8%	21.9%	12.5%	12.0%	40.1%	2.6%
60～64歳	210	57	9	8	20	51	23	8	9	25	0
	-	80.3%	12.7%	11.3%	28.2%	71.8%	32.4%	11.3%	12.7%	35.2%	0.0%
65～69歳	215	50	15	6	20	58	17	11	6	31	1
	-	68.5%	20.5%	8.2%	27.4%	79.5%	23.3%	15.1%	8.2%	42.5%	1.4%
70～74歳	319	67	17	9	28	93	30	14	17	42	2
	-	58.3%	14.8%	7.8%	24.3%	80.9%	26.1%	12.2%	14.8%	36.5%	1.7%
75歳以上	362	83	20	14	28	104	28	15	22	48	0
	-	63.8%	15.4%	10.8%	21.5%	80.0%	21.5%	11.5%	16.9%	36.9%	0.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

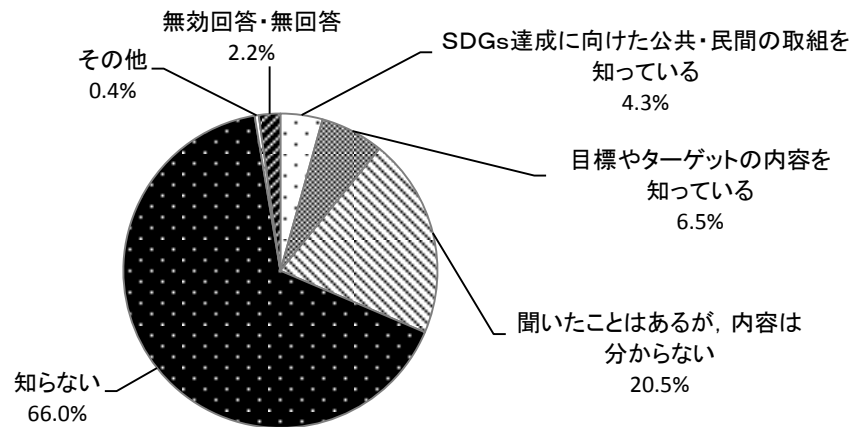
回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問 40) あなたは、国連で採択された持続可能な開発目標SDGs※を知っていますか。

※SDGs（エスディージーズ）とは、2015年9月の国連サミットにおいて、日本を含む193か国の合意により採択された国際的な目標。先進国・開発途上国を問わず、公共・民間各層のあらゆる関係者が連携しながら、世界全体の経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むための持続可能な開発のゴールとして17の目標が掲げられている。

<全体 (n=1,178)>

○「知らない」が66.0%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は分からない」の20.5%、「目標やターゲットの内容を知っている」の6.5%の順となっています。



n=1,178

<年齢層別>

○どの年齢層でも「知らない」が最も多くなっていますが、16歳～19歳及び75歳以上では「知らない」の割合が低くなっています。

○65歳以上では、年齢が上がるにつれて「聞いたことはあるが内容は分からない」の割合が高くなっていきます。

年齢層別	回答者数 (無効回答・無回答含む)	SDGs達成に向けた公共・民間の取組を知っている	目標やターゲットの内容を知っている	聞いたことはあるが内容は分からない	知らない	その他	無回答
16～19歳	27	3	5	3	16	0	0
	100.0%	11.1%	18.5%	11.1%	59.3%	0.0%	0.0%
20～29歳	76	4	8	14	50	0	0
	100.0%	5.3%	10.5%	18.4%	65.8%	0.0%	0.0%
30～39歳	150	5	9	26	108	1	1
	100.0%	3.3%	6.0%	17.3%	72.0%	0.7%	0.7%
40～49歳	220	18	11	31	160	1	1
	100.0%	8.2%	5.0%	14.1%	72.7%	0.5%	0.5%
50～59歳	220	9	19	45	144	1	2
	100.0%	4.1%	8.6%	20.5%	65.5%	0.5%	0.9%
60～64歳	87	2	8	16	59	0	2
	100.0%	2.3%	9.2%	18.4%	67.8%	0.0%	2.3%
65～69歳	84	3	4	18	57	0	2
	100.0%	3.6%	4.8%	21.4%	67.9%	0.0%	2.4%
70～74歳	138	5	6	35	88	1	3
	100.0%	3.6%	4.3%	25.4%	63.8%	0.7%	2.2%
75歳以上	165	2	5	50	92	2	14
	100.0%	1.2%	3.0%	30.3%	55.8%	1.2%	8.5%

(上段:実数(人),下段:構成比)

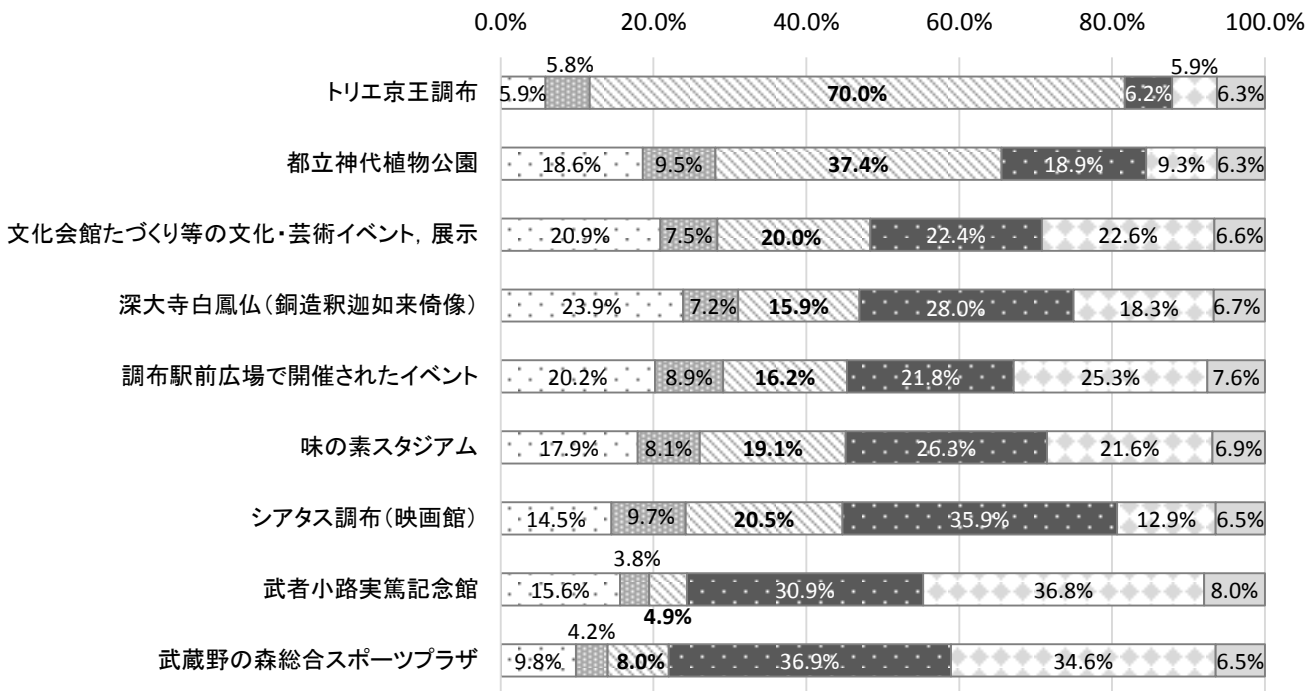
回答数が最も多い: 回答数が2番目に多い:

問 41) あなたは、この1年間に次の場所やイベントに行ったことがありますか。

<全体 (n=1,178) >

○1回でも行ったことがある場所として最も多いのは「トリエ京王調布」で81.7%となっており、次いで「都立神代植物公園」の65.5%、「文化会館たづくり等の文化・芸術イベント, 展示」の48.4%の順となっています。

○「まだ行ったことがないが、今後行く予定・まだ拝観したことはないが、今後拝観する予定」の割合は、「武蔵野の森総合スポーツプラザ」が36.9%と最も多くなっています。



1回行った, 1回拝観した

2回行った, 2回拝観した

n=1,178

3回以上行った, 3回以上拝観した

まだ行ったことがないが, 今後行く予定
まだ拝観したことはないが, 今後拝観する予定

行ったことはない, 今後行く予定もない
拝観したことないし, 今後する予定もない

無効回答・無回答

<年齢層別> (1回以上行った, 拝観した場所やイベント)

- 「トリエ京王調布」はどの年齢層でも高い割合となっています。
- 「都立神代植物公園」及び「深大寺白鳳仏(銅造釈迦如来倚像)」は60歳以上で高い割合となっています。
- 「文化会館たづくり等の文化・芸術イベント, 展示」では, 65歳以上で高い割合となっており, 半数を超えています。

	合計	16~19歳 (n=27)	20~29歳 (n=76)	30~39歳 (n=150)	40~49歳 (n=220)	50~59歳 (n=220)	60~64歳 (n=87)	65~69歳 (n=84)	70~74歳 (n=138)	75歳以上 (n=165)	無効回答・ 無回答 (n=11)
トリエ京王調布	962	24	62	133	200	197	73	66	101	99	7
	81.7%	88.9%	81.6%	88.7%	90.9%	89.5%	83.9%	78.6%	73.2%	60.0%	63.6%
都立神代植物公園	772	12	25	95	128	141	64	66	108	127	6
	65.5%	44.4%	32.9%	63.3%	58.2%	64.1%	73.6%	78.6%	78.3%	77.0%	54.5%
文化会館たづくり等の文化・芸術イベント, 展示	570	9	19	61	106	101	39	50	86	93	6
	48.4%	33.3%	25.0%	40.7%	48.2%	45.9%	44.8%	59.5%	62.3%	56.4%	54.5%
深大寺白鳳仏(銅造釈迦如来倚像)	553	8	27	69	90	92	42	50	77	95	3
	46.9%	29.6%	35.5%	46.0%	40.9%	41.8%	48.3%	59.5%	55.8%	57.6%	27.3%
調布駅前広場で開催されたイベント	534	4	21	64	97	116	36	47	72	72	5
	45.3%	14.8%	27.6%	42.7%	44.1%	52.7%	41.4%	56.0%	52.2%	43.6%	45.5%
味の素スタジアム	532	12	30	67	109	97	38	38	56	80	5
	45.2%	44.4%	39.5%	44.7%	49.5%	44.1%	43.7%	45.2%	40.6%	48.5%	45.5%
シアタス調布(映画館)	527	15	38	73	128	109	36	35	50	39	4
	44.7%	55.6%	50.0%	48.7%	58.2%	49.5%	41.4%	41.7%	36.2%	23.6%	36.4%
武者小路実篤記念館	287	5	8	19	44	44	25	26	45	69	2
	24.4%	18.5%	10.5%	12.7%	20.0%	20.0%	28.7%	31.0%	32.6%	41.8%	18.2%
武蔵野の森総合スポーツプラザ	259	5	13	35	58	53	17	22	26	30	0
	22.0%	18.5%	17.1%	23.3%	26.4%	24.1%	19.5%	26.2%	18.8%	18.2%	0.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: ■ 回答数が2番目に多い: ■

<地域別> (1回以上行った, 拝観した場所やイベント)

- 「トリエ京王調布」はどの地域でも高い割合となっています。
- 「都立神代植物公園」及び「深大寺白鳳仏(銅造釈迦如来倚像)」では, 北部地域の割合が最も高くなっています。
- 「武者小路実篤記念館」では, 東部地域の割合が最も高くなっています。

	合計	東部地域 (n=283)	北部地域 (n=254)	南部地域 (中心市街地) (n=194)	南部地域(中心市街地以外) (n=226)	西部地域 (n=204)	無効回答・ 無回答 (n=17)
トリエ京王調布	962	204	208	166	200	174	10
	81.7%	72.1%	81.9%	85.6%	88.5%	85.3%	58.8%
都立神代植物公園	772	181	185	120	144	131	11
	65.5%	64.0%	72.8%	61.9%	63.7%	64.2%	64.7%
文化会館たづくり等の文化・芸術イベント, 展示	570	134	124	96	108	100	8
	48.4%	47.3%	48.8%	49.5%	47.8%	49.0%	47.1%
深大寺白鳳仏(銅造釈迦如来倚像)	553	118	157	85	99	87	7
	46.9%	41.7%	61.8%	43.8%	43.8%	42.6%	41.2%
調布駅前広場で開催されたイベント	534	102	101	106	115	103	7
	45.3%	36.0%	39.8%	54.6%	50.9%	50.5%	41.2%
味の素スタジアム	532	112	108	86	108	112	6
	45.2%	39.6%	42.5%	44.3%	47.8%	54.9%	35.3%
シアタス調布(映画館)	527	97	120	100	120	88	2
	44.7%	34.3%	47.2%	51.5%	53.1%	43.1%	11.8%
武者小路実篤記念館	287	111	54	36	44	39	3
	24.4%	39.2%	21.3%	18.6%	19.5%	19.1%	17.6%
武蔵野の森総合スポーツプラザ	259	56	60	32	47	61	3
	22.0%	19.8%	23.6%	16.5%	20.8%	29.9%	17.6%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答数が最も多い: ■ 回答数が2番目に多い: ■

